

- | セキュリティ産業、2012年の予測
- | セキュリティ、小売企業の売りに貢献
- | SECURITY SHOW 2012直前情報



Innovative Network Video Recorder
VioStor Series

ROD
Respect on Demand
株式会社 R.O.D

新たな進化を遂げた
NVR VioStor-8100Pro+

エヴァーフォーカスのトータルIPソリューション

映像解析機能搭載、マルチサーバ/クライアント対応CMS



ーション

も登場



エヴァーフォーカスIPソリューション

PowerFocusPlus(パワーフォーカス・プラス)は新しいIPソリューション用CMSです。人数カウント・仮想フェンス機能・持ち込み/置き去り検知・物体検知などの映像解析により、より強固なIP防犯/監視システムを実現します。カメラ増設対応、マルチサーバ/クライアント対応など、柔軟で使い勝手のよいCMSです。

CMSのほか、各種ネットワークカメラ(最大3メガピクセル)・NVR・アクセサリと豊富なラインナップより、最良の映像監視能力を発揮できるIPソリューションを簡単かつ強力なものとして実現できます。



表紙解説

新たな進化を遂げたNVR VioStor8100Pro+ 4

特集

セキュリティ産業、2012年の予測 18

個別市場

**セキュリティ、
小売業界の売り上げに貢献 28**

特別企画

SECURITY SHOW 2012直前情報 47

特別記事

HD-CCTVの基礎 16

キーマンインタビュー

R.O.D池田治常務取締役、セキュリティ産業への提言 6

連載：市場慧眼

よくわかるIPネットワーク 45

連載：生体認証

文書改竄検出システム 42

指静脈認証システム導入事例 44

イベント情報

Bosch Security Systems
注目を集める新製品を発表 59

展示会日程

展示会、プライベートショー日程 56

新製品欄

CCTV、入退管理、その他 60

国内産業ニュース	8
海外産業ニュース	12
読者の声	63



MICR SIZE MEGA QUALITY



Office



Store



Hotel

Hikvision製DS-2CD7153-Eは厚さ46mmの超薄型耐衝撃ドームカメラで、鮮明な映像を提供できるように2メガピクセル・センサを搭載し、超簡単で設置できるタイプです。コンパクトなデザインによって、オフィス、ホテル、倉庫、お店など屋内でネットワーク高解像度監視ソリューションを実現することができます。

- H.264/MPEG4//MJPEG映像コーデック
- 1/3インチCMOSセンサ
- HD画像のリアルタイム・ストリームで最大2Mピクセルの映像ソリューション
- 内蔵マイク
- 3軸レンズ・ローテーション・システム
- PoE対応
- 電子PTZ



NVR



デジタル・ビデオ・サーバ



スピード・ドーム



ネットワーク・カメラ



携帯型DVR

その他の機種 >

UL CE FCC RoHS ISO9001:2000 ISO14001

www.hikvision.com

Headquarters
Tel: +86-571-8807-5998
overseasbusiness@hikvision.com

Hikvision USA
Tel: +1-909-895-0400
salesusa@hikvision.com

Hikvision Europe
Tel: +31-23-5542770
saleseuro@hikvision.com

Hikvision Middle East
Tel: +971-4-8848766
salesme@hikvision.com

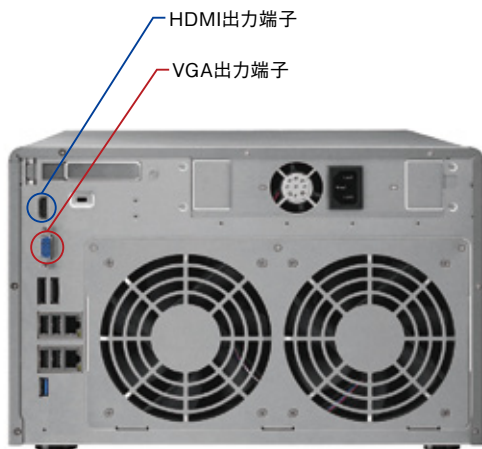
Hikvision India
Tel: +91-22-28469900
sales@pramahikvision.com

Hikvision Russia
Tel: +7-812-313-19-63
salesru@hikvision.com

Hikvision Hong Kong
Tel: +852-2151-1761

新たな進化を遂げたNVR VioStor-8100Pro+機能解説

2011年11月、ネットワーク・ビデオ・レコーダー「VioStor」シリーズに新たな製品が仲間入りした。製品名は「VioStor-8100Pro+」。24/32/40/48チャンネルに対応した4機種の高エンド・ラインナップである。では早速、従来機種からさらに進化したVioStor-8100Pro+シリーズの機能についてご紹介していこう。



背面イメージ

“プラス”の秘密はローカル・ディスプレイにあり モニタリングはさらに高精細・高画質へ

VioStor-8100Pro+の大きな特長の一つは、VioStorシリーズで初めてHDMI出力が可能になったこと。つまり市販のデジタルテレビに接続して簡単に高品質なモニタリングを行えるのである。では、なぜHDMIが良いのか？—“地デジ化”の際にHDMIという言葉聞いたことがある人は多いだろう。これは、「High-Definition Multimedia Interface」の略。アナログデータをデジタルに変換していたアナログ放送では、映像は映像用の、音声は音声用のケーブルを正しく接続する必要があった。一方、地デジで利用するHDMIケーブルは、それ1本で映像と音声を高品質なデジタルデータのまま伝送することができるため、画質の劣化がかなり低減され、録画データもシャープでクオリティの高い映像が確認できる。もちろんVioStor-8100Pro+は、フルHDでのVGA出力(HDMI/VGA択一：将来的にデュアル・ディスプレイに対応予定)にも対応している。「+」は単にHDMI対応製品というだけでなく、これまでのProシリーズよりもさらに一つ進化したという意味が込められている。

ユーザーの要求にとことん応えられる 高いパフォーマンス性と信頼性を追求

VioStor-8100Pro+はその外観も大きく変わった。同じ8ベイの従来モデルVioStor-8000Proシリーズと比べると、8つのHDDが横並びになった分、幅を取るように感じられるだろう。しかし奥行き322mm、幅328mm、高さ218mmと意外にコンパクトで、タワー型のデスクトップPCを横にしたのと同様に変わらない大きさだ。そして性能・パフォーマンスの点でも進化している。8100Pro+シリーズでは最大48チャンネルまで登録・録画できる最上位機種が登場。登録カメラ数が多くなればなるほどより高い処理能力が必要になるため、CPUにはIntel Core 3.3GHzを採用し、2GBのDDR3メモリを搭載している。さらにスループット値がクラス最高の360Mbpsと、これまでの最上位機種に比べて約20%向上。もちろん従来通り、高い冗長性を確保するRAIDはレベル6+ホットスペアまでサポートしており(初期出荷はRAID5)、パフォーマンス性と信頼性の高いシステムが構築できるようになっている。



ファームウェア3.5.1で追加された新機能 実用面での進化が存在価値をさらに高める



- BOSCH
- LG Electronics
- SAMSUNG
- Histream
- LILIN
- SHARP
- HUNI
- PSIA
- Sollo

ファームウェアバージョン3.5.0 / 3.5.1でサポートしたカメラメーカー

併せて記しておきたいのがVioStor-8100Pro+の発売に先駆けて公開となった最新ファームウェアバージョン3.5.1についてだ。特に注目すべきは、ローカル・ディスプレイの再生ページで録画ファイルのエクスポート機能が追加されたこと。USBメモリに録画ファイルをダウンロードすることができるのである。数時間単位でデータが必要な場合は外付けHDDやパソコンへのダウンロードをおすすめするが、「ちょっとしたデータがすぐにほしい」という場合に、ローカル・ディスプレイから直接操作できてとても便利だ。またこのバージョンから従来のプレイバック機能が進化し、カメラの同時再生が4台から16台に拡張されている(※PC上の操作のみ)。1台のカメラの画像を時間帯を変えて同時再生することもできるため、録画データの検索性がより高まる。さらにVioStorは、現在48メーカー以上のネットワーク・カメラに対応(バージョン3.5.1以降)。いかなるシステム・ネットワークにも順応できるマルチ・ベンダー対応レコーダーとしての実用度が高まっています。

●VioStor-8100Pro+シリーズ ローカルモニター及び一般仕様●

		8124Pro+	8132Pro+	8140Pro+	8148Pro+
映像出力	モニター出力	HDMI / RGB(ミニD-SUB15 ピン折一)出力解像度1920×1080			
	ライブ画面	1 / 4 / 6 / 8 / 10 / 12 分割表示、シーケンシャル表示、全画面表示			
録画	同時録画台数(対応カメラ)	最大24台まで	最大32台まで	最大40台まで	最大48台まで
		Panasonic / キヤノン / AXIS / Brickcom など。http://www.rodweb.co.jpをご覧ください。			
	録画モード	連続 / マニュアル / スケジュール / アラーム(カメラに依存)			
	録画性能	解像度 / 画質 / フレームレート(カメラ性能、ネットワーク環境に依存)			
	圧縮形式	M-JPEG / MPEG-4 / MxPEG / H.264(カメラに依存)			
	ファイル形式(録画・録音)	独自AVI(Windows Media Playerで再生可能)			
	アラーム録画時のバッファ容量	最大: 検知前300秒 / 検知後300秒(計600秒)			
記録媒体	音声録音	最大24台まで	最大32台まで	最大40台まで	最大48台まで
	内蔵ハードディスク	HDD×8、最大7TB(RAID5)			
	ディスク・モード	シングル、RAID0、RAID1、RAID5、RAID6(出荷時RAID5)			
インターフェイス	LANポート	RJ-45(1000BASE-TX / 1000BASE-T自動切替)×2			
	USB端子	USB×6(前面×1、背面×5)			
管理	ユーザー管理	カメラごとモニタリング、録画の権限他設定可能(最大32名まで登録可能)			
	アラート通知	Eメール / 警告音 / イベント・ログ			
	イベント・ログ	全ての障害、イベントを記録			
ネットワーク	対応プロトコル	HTTP / TCP / IP / SMTP / DHCP / DNS / DDNS / FTP / NTP / UPnP			
	対応ブラウザ	Internet Explorer7.0以上にて			
一般仕様	電源	AC100V(内蔵電源)			
	消費電力	約101W(最大)			
	LED	HDD1 / HDD2 / HDD3 / HDD4 / HDD5 / HDD6 / HDD7 / HDD8 / LAN / USB / 電源			
	使用温度範囲	0℃～+40℃			
	使用湿度範囲	20%～80% RH(ただし、結露のないこと)			
	外形寸法	約322(D)×328(W)×218(H)mm(突起物含まず)			
	質量	約14kg(HDD含まず)			
付属品	取扱説明書 / CD-ROM / LANケーブル×2				

R.O.D池田治常務取締役役に聞く セキュリティ産業への提言

2004年に他社に先駆けてVioStorを発表してわが国のNVR市場で快走するR.O.D。VioStorをNVRのトップブランドとし、NVR市場を開拓した第一人者としての同社の活躍は、セキュリティ産業従事者間では周知の事実である。本誌は同社常務取締役池田治氏にNVR市場およびセキュリティ産業の今後についてインタビューした。

問 NVR市場の取り組みは？

NVR市場の動向は、日本市場でなく世界市場が主な潮流です。そこで当社は、ハードウェアやソフトウェアについては世界市場の潮流をつぶさに観察し、その流れの中で市場要求に合ったカスタマイズ化を進め、ユーザの期待に応えていくことを基本方針としています。当社はVioStorを自社生産していませんが、ファブレス企業として提携先と常に製品改良とバージョンアップに取り組んでいます。

問 NVR市場への提言は？

DVRが発表されてからの3年間は、それまでの監視システムを一新する動きとなりました。そして、NVRが普及し始めてから既に3年以上経過した現在、NVRはDVRに取って代わり主力機器となりました。では次の段階はどうか、これを真剣に考えて製品開発やソリューションに取り組んでいるメーカーやベンダが少なすぎます。過去を顧みて未来を読むことが次の段階に進む最良の方策です。これは、日本だけでなく、世界のNVRメーカーやベンダに理解していただきたいと思います。

問 今後の事業展開は？

•VioStorの基本概念

これまでNVRは4チャンネルから16チャンネルまでのカメラ接続によるターミナルとしての役割が大半でした。今後はNVR自体がプラットフォームとして存在すべきではないかと考えています。すなわち、NVRの機能をどんどん付加してシステムを拡大するのではなく、プラットフォームとして広範性と柔軟性を堅持することを優先することです。これにより、使用しないかもしれない機能を付加することによる製品価格の上昇を回避することができます。そして、操作性において、簡便さと使いやすさを維持することができます。追加したい機能がある場合はアドオン・ソフトウェアで対応することが、最終的にユーザにメリットを提供できることに繋がります。

•アドオンソフトとの連携

VioStor純正ソフトウェアは以前から提供していますが、さらに複数のソフトウェア企業と連携して、アドオンソフトとしていくつかのソフトウェアが連携できるようにしています。一例を挙げると、ナンバープレート認識のVS-Catchがあります。このようなソフトウェアを自社開発し技術サポートすることは、時間的

にも誠意ある対応確保の点からもメリットはないという考えに基づいています。また簡便な接続性を実現するために、ナンバープレート認識をプレインストールした装置で提供しています。

その他にも、VioStorを一層効率的に使いこなすためのハードウェア製品として、Vs-Eyeを提供しています。本製品は、最大8台のネットワーク・カメラを登録し映像表示が可能なモニタリング専用ユニットですが、本体に録画機能はありません。VioStorを補完し高解像度モニタリングを実現する製品です。

•協力会社との連携強化

当社の事業は、VioStorの販売だけでなく、多くのメーカーのカメラを販売しています。特定メーカーの製品を販売するのではなく、導入するソリューションに最適のカメラを提案しています。この考えを広めるために、当社と取引のある協力会社を対象としたセミナーを実施しています。そして、協力会社にもコンサルティング活動をしていただきたいと考えています。

•あるべき姿

上記と重なりますが、「最初にNVRとカメラありき」ではなく、「第一にソリューションありき」を徹底します。導

入側の求める機能は何かを正確に把握して、それに応えるソリューションを作成し、そこで必要な機器をそろえるという工程こそが、顧客との信頼関係の堅持があるべき姿と考えています。

問 将来の展望は？

当社は、現在の業態が今後もそのまま継続するとは想定していません。将来、現在の主力製品であるVioStorやIPカメラはもちろん、市場ニーズに応じた新製品を投入していきます。そのためにも最も重視しているのは、協力会社や顧客の方々との強い信頼関係の構築です。

問 セキュリティ産業への提言は？

●プラットフォームについて

メーカー各社は、ユーザでなく自社開発技術を優先した製品を供給しています。例えば、ONVIFが各種インタフェースを統一しようと活動していますが、現実にはONVIF仕様準拠と言いながら正常に動作しない製品があります。オープンプラットフォームの重要性を軽視していると思えてなりません。これでは、市場の発展や成長の阻害となります。ソリューションに応じた幅広い選択を確保すべきです。

このことは歴史から学ぶことができます。PC市場でMS-DOS全盛時、他社製品との互換性がなく、ユーザは導入に消極的でした。しかし、オープンプラットフォームであるWindowsが登場後、ユーザはPCを積極的に導入し、市場は飛躍的に成長しました。MS-DOS対応PCは輸出などほとんどできなかつたが、Windows対応PCになり、世界市場に供給できるようになりました。

●ユーザ優先

セキュリティ関連企業は、セキュリティ市場の継続かつ健全な発展を第一義に考えた行動に徹するべきです。そのためには、産業や市場よりもユーザを最優先に意識した製品開発と販売そして技術サポートを心がけるべきです。まずはユーザの現在の要求を満たし、そしてユーザが次に求める内容の実現に取り組むことです。

しかし、現実には市場占有率欲しさに価格競争や売り上げ確保に走る企業が多すぎます。そこにあるのは、「自社製品さえ売ればいい」という考えです。これでは、導入したユーザを優先しているとは言えません。セキュリティ・システム導入の対価を支払うのはユーザです。

ただし、ユーザ側にも理解していただきたいことがあります。システムを廉価で導入することよりも、継続して使用でき、将来の拡張性に対応している満足度の高いシステムを導入することです。ストレートな表現かもしれませんが、「安物買いの銭失い」を避けることです。

●コンサルティングの重視

セキュリティ産業の日本市場と海外市場の構造的な違いは、コンサルタントがいるかどうかです。セキュリティ産業の発展途上国においてすら、メーカーやシステム構築社から独立したコンサルタントが存在します。しかも、彼らは最新の技術やソリューションを正しく理解しています。そして、導入側の要求を満たすソリューションを提案しています。そうしないと、事業にならないからです。

しかし、日本市場ではほとんど存在していません。そのため、新築建造物では建設会社の設計部門がコンサルティングすることがあります。しかし、彼ら全員



が最新のソリューションを理解し、最適なシステムと機器を選択しているとは限りません。仕入価格や取引実績など別の選択要因が働いているかもしれません。事実、セキュリティ機器の入れ替え時に、理解に苦しむシステムを導入し、ユーザが強い不満を抱いている事例がいくつもあります。これと同様な事例はメーカーやメーカー系列の販売会社が提案するソリューションでも存在します。

●産業界発展への貢献

今市場から求められているセキュリティ・システムを、1社だけのソリューションでニーズを満たせないことは明白です。しかし、自社製品だけによる囲い込みのソリューションの提供や営業活動に励んでいる企業が業界の主流であるのが現実です。これではセキュリティ産業界の健全な発展を阻害しかねません。産業界の発展なくして企業の存続が困難であることは、家電業界の例を引くまでもありません。

そして、メーカーであれベンダであれ、日本市場だけでなく、世界市場で伍して勝ち抜ける製品やソリューションを輩出するという高い見地に立って、世界のセキュリティ産業界を牽引する活動で、日本のセキュリティ産業に貢献すべしでしょう。



NECとCA Technologies、認証セキュリティソリューションで協業

NECと米国CA Technologiesは、クラウドを利用した認証・セキュリティソリューション分野での協業を発表した。CA社のソフトウェア認証技術ArcotDRを用いた「CA Arcotソリューション」を、NECのID活用基盤ソフトウェア「N7000-3A」および総合セキュリティ対策ソリューション「NEC Mobile Security」に統合した認証・セキュリティソリューションを開発した。本ソリューションは、NECが世界30ヶ国で販売する。

本ソリューションは、NECの複数サイト間のID連携が容易な統合認証サービスをクラウドで行う。さらに、従来、USBやスマートカードなどのハードウェアを用いて利用していた証

明書ベースの二要素認証などを、セキュリティ強度を保ちつつソフトウェアで実現する「ArcotID」を加えることで、利便性とセキュリティ強度を両立した統合認証サービスを実現する。本ソリューションの主な特長は下記の通り。

1. サービス事業者の様々な用途に応える「統合認証サービス」のクラウド化
2. ソフトウェアトークン(クライアント証明書)を活用した多要素認証機能の提供
3. 「ID/パスワード・レス」サービスでのセキュリティ強度維持の実現

ソニー、積層型CMOSイメージセンサを開発

ソニーは、次世代の裏面照射型CMOSイメージセンサとして位置づけている積層型CMOSイメージセンサを開発した。本製品は、従来の裏面照射型CMOSイメージセンサの支持基板の代わりに信号処理回路が形成されたチップを用い、その上に裏面照射型画素が形成された画素部分を重ね合わせた積層構造にすることで、カメラの進化に繋がる高画質化・高機能化・

小型化を実現する。特長は次の通り。

- ・高画質化・高機能化用の大規模信号処理回路の搭載
- ・イメージセンサのチップサイズの小型化
- ・高画質化に特化した製造工程採用で画素部分の高画質化
- ・回路部分への先端工程採用による高速化・低消費電力化

フィット・デザイン・システム、低価格指静脈認証装置をサンプル出荷

フィット・デザイン・システムは、従来価格の1/3となる1台1万円の低価格指静脈認証装置FDV-570を3月からサンプル出荷する。内蔵プリント基板に搭載するICを従来の10個から3個程度に集約し、さらに基本機能を絞り込むことで低価格を実現した。具体的には、内蔵プリント基板に搭載する光学系部品を従来よりも安価に調達する一方で、フラッシュメモリおよび画像処理LSIを搭載することで、指静脈読取から認証までの全ての工程を行うことができる。

指静脈の登録人数は350人、認証速度は約1秒で従来製品と同等の性能を持つ。読み取り環境は、照度が0～5,000ルクス、作動温度は0～40度。

指静脈認証が本装置内で済ませることができると、認証ネットワーク用管理PCが故障していても認証可能である。

SDK(ソフトウェア開発キット)付きのサンプル価格は17万円。製品の量産化は2012年夏の予定で、初年度の量産品販売は5万個を見込んでいる。

富士通、デスクトップ型シンクライアントFUTRO S900を発売

富士通は、シンクライアントのデスクトップ型シンクライアントFUTRO S900販売開始した。特長は次の通り。

●豊富なセキュリティとの連携

掌静脈や指紋認証、スマートカード等の個人認証技術に対応。

●2台のディスプレイを同時に使用できるマルチモニタ対応

●Windows Embedded Standard7を採用

高い操作性と信頼性を誇る、使いやすい画面で操作が可能。

●無線LANによる自由な設置を実現

無線LANの通信規格IEEE802.11b/g/nに準拠。



高精細HDカラーカメラモジュール

FCB-EHシリーズ **NEW**

FCB-EH6300 (1080p/30) 光学20倍 **FCB-EH3300 (720p/60) 光学20倍**
FCB-EH3400 (720p/60) 光学28倍 **FCB-EH3150 (720p/60) 光学12倍**

FCB-EHシリーズは、オートフォーカスズームレンズ、多彩な機能を搭載。

新たにイメージスタビライザー機能搭載モデルも加わり、ラインナップも充実し、幅広いアプリケーションでお使いいただけます。

■ 特長

● 高感度“Exmor”CMOS搭載

FCB-EH6300: 1/2.8型“Exmor”CMOS(約327万画素)
 FCB-EH3400: 1/4型“Exmor”CMOS (約143万画素)
 FCB-EH3300: 1/4型“Exmor”CMOS (約143万画素)
 FCB-EH3150: 1/4型“Exmor”CMOS (約143万画素)

● Auto Focus Zoomレンズ搭載

● 映像信号

FCB-EH6300
 HD: 1080p/29.97, 1080p/25,
 1080i/59.94(29.97PsF), 1080i/50(25PsF),
 720p/59.94, 720p/50, 720p/29.97, 720p/25
 SD: NTSC/PAL
 FCB-EH3400/FCB-EH3300/FCB-EH3150
 HD: 720p/59.94, 720p/50, 720p/29.97, 720p/25
 SD: NTSC/PAL

● ワイドダイナミックレンジ機能

● イメージスタビライザー機能(手振れ補正) (FCB-EH3400搭載)

● Auto ICR 機能 ● ノイズリダクション機能

● デジタルズーム機能(12倍) ● プライバシーゾーンマスキング機能

● モーションディテクション機能 ● カラーエンハンスメント機能

● スロー-AEレスポンス機能(最長5分以上) ● 温度読み出し機能



FCB-SE600 (1080p/30) 光学3倍 **NEW**

FCB-SE600は、電動バリフォーカルレンズ、ISP、I/F基板を搭載したフルHD出力が可能なカラーカメラモジュールです。ワイドダイナミックレンジ、Auto ICR、モーションディテクション機能を搭載し、多機能化を実現しており、幅広いアプリケーションへの対応が可能です。

■ 特長

● 高感度“Exmor”CMOS搭載

FCB-SE600: 1/2.8型“Exmor”CMOS(約327万画素)

● 光学3倍電動バリフォーカルレンズ

● フルHD対応の広角90°(wide 端)

● 映像信号

1080p/30, 1080p/25,
 1080i/60(30PsF), 1080i/50(25PsF),
 720p/60, 720p/50, 720p/30, 720p/25

● ワイドダイナミックレンジ機能

● Auto ICR 機能 ● ノイズリダクション機能

● デジタルズーム機能(12倍)

● プライバシーゾーンマスキング機能

● モーションディテクション機能

● カラーエンハンスメント機能

● スロー-AEレスポンス機能(最長5分以上)

● 温度読み出し機能



ソニー株式会社

〒243-0014 神奈川県厚木市旭町4-14-1 TEL(046)202-8594 FAX(046)202-6780 <http://www.sony.co.jp/ISP/>

※“SONY”, “make. believe” および “Exmor” はソニー株式会社の商標です。
 ※記載事項は改良のため予告なく変更することがあります。

オブテックス、英レイテック社を子会社化

オブテックスは、英国レイテック社の発行済み全株式を取得し、全額出資子会社とする。

レイテック社は、大型重要施設に設置されるハイセキュリティ・システム・カメラ用赤外線補助照明を供給するメーカーで、特に英国を始めとする欧州地域でトップクラスのシェアを有している。最近では建物外周や大型駐車場での屋外用白色LED照明の拡大にも注力しており、市場の伸びが期待される米国やアジア地域への展開を加速している。

海外市場では高度なセキュリティシステムの一貫として屋外

用カメラの普及が進んでおり、カラー監視カメラが夜間、正確な色を捉えた撮影を可能にするための補助照明、特に長距離撮影時の需要が高まっている。

オブテックスは、屋外センシング技術と既に国内市場で事業展開しているLED照明・調光システムをベースに、レイテック社が保有する中・長距離照明、防爆仕様照明、赤外線やLEDによる屋外照明などを加えることで製品ラインアップを充実することになる。

NICT、配信中の映像のリアルタイム解析・監視実験に成功

独立行政法人の情報通信研究機構(NICT)は、JGN-X上に新世代に向けたネットワーク技術として研究を進めている、各種技術を多層的に実装した動的オンデマンド・ネットワークを構築し、配信中の映像リアルタイムに解析・監視する実験に成功した。

この実験では、現在研究中の各種ネットワーク制御技術を用い、NICTが運用するJGN-Xに加え、本実証実験の協力機関が運用する複数ネットワークを仮想的に統合化した広域かつ多階層のネットワークを作成した上で、ネットワーク・ユーザからの要望を踏まえたネットワーク環境を柔軟に構築(論理配分)可

能とする新世代のネットワーク運用技術の実検証を行ったもの。なお、JGN-Xは新世代ネットワークの実現等に向けた研究開発用テストベッドネットワークである。

今後の展望としては、多層化された動的オンデマンド・ネットワークを用いる技術および運用手法の確立により、サーバ環境でのクラウドサービスモデルに似た、複数キャリア・国・地域にまたがったオンデマンド・ネットワーク資源の提供や、通信・放送事業サービスにおける新しいビジネスモデル構築の可能性などをもたらす。

ALSOK、Suica対応の入退管理システムの販売開始

ALSOKは、入退管理システムの新ラインアップとして、東日本旅客鉄道のICカードであるSuica対応の入退管理システムの販売を、首都圏を対象として2012年1月25日より開始した。特長は次の通り。

●既に所有しているSuicaをそのまま利用可能

入退管理用のICカードを新たに購入することないため、利用人数に応じて必要だったカード購入コストを削減することができる。また、利用者はカードを複数枚持ち歩く必要がなくなる。

●社内LANを利用した汎用パソコンによる管理が可能

入退履歴の確認やICカードの登録作業などの管理業務は、コントロール・ユニットで行うため、専用サーバやパソコンを準備する必要がない。また、その操作は、社内LANを経由

して汎用パソコンで行うことで、既存設備を有効に活用することができ、設備投資を抑えることができる。

●ALSOKガードシステム(機械警備システム)との連動が可能
既にALSOK機械警備システムを導入している場合、夜間など警備がオンになっている時は、入退管理システムによる入室操作をしても動作しないなど、機械警備システムと本入退管理システムを連動させることができる。

●デファクト・スタンダードのカードのため、機能追加が容易
機能を追加する場合も、開発や設定がやりやすい。

●定期券との併用ならば確実に管理することができる

出退勤時に使用する定期券と併用の場合、ほぼ毎日管理することができる。

高品質・低価格のセキュリティシステムを提供する
店舗プランニングの豊富なラインナップ！



▶ 豊富なラインナップを持つ
アナログカメラシリーズ

▶ 高解像度の
プログレッシブ・ネットワークカメラシリーズ

▶ 進化したセキュリティカメラ
HD-CCTVシリーズ **NEW**



高機能・高画質カメラ & 最新HD-SDI録画装置

**最新のネットワークカメラによる
ビジネス価値の向上**



1 IG2050F [HD IP固定カメラ]
デイ/ナイト(TDN)機能付き
フルHDネットワークカメラ



- 1/3インチ・プログレッシブCMOSセンサ搭載、TDN(ICR)
- 最大フルHD(1920×1080)、30fps
- H.264/MJPEGのデュアル・コーデック・ストリーミング PoE対応
- デュアル・オーディオ(ADPCM)、SDメモリカード

2 IDC4050VR [HD IPドームカメラ]
高解像度プログレッシブ・フルHDネットワークカメラ



- 1/3インチ・プログレッシブCMOSセンサ搭載、TDN(ICR)
- DCアイリス・バリフォーカル・レンズ(3~10mm)、赤外線LED 18個
- 最大フルHD(1920×1080)、30fps
- H.264/MJPEGのデュアル・コーデック・ストリーミング PoE対応

3 IBP5030CR [メガピクセル耐候カメラ]
高解像度プログレッシブ・全天候型ネットワークカメラ



- 1/2インチ・プログレッシブCMOSセンサ搭載、800TV本
- DCアイリス・バリフォーカル・レンズ(7.5~50mm、F=1.3)
- 最大1.3メガピクセル(1280×960)、24fps
- 赤外線LED 206個、センサ 1個

SECURITY SHOW 2012

過去最大9コマで出展いたします

[2012年3月6日(火)~9日(金) 10:00~17:00]
東京ビッグサイト 東3ホール SS3425

最新のセキュリティ商品を展示いたします。システム導入・施工のご相談を承りますので弊社ブースまでどうぞお立ち寄りください。



弊社ショールームへ是非お越しください!

最新のネットワークカメラから、HD-SDIのカメラ及びハードディスクレコーダーまで取り揃え、いつでもお客様が見て操作できる環境を提供しております。いつでもお気軽にお越しください。

販売代理店募集中



INC. CNB Technology Inc. 日本総販売代理店



株式会社 店舗プランニング セキュリティ事業部

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2階 TEL.03-3378-4901 FAX.03-3378-4906

仙台営業所 名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所 技術センター

<http://www.tenpo.co.jp>

製造元 CNB Technology Inc.

エドワルド・エムデ氏、ASIS Interenational代表に就任

世界最大のセキュリティ・マネジメント団体ASIS International(エイエスアイエス・インタナショナル)の2012年度会長に、エドワルド・エムデ氏が就任した。同氏は、オランダを拠点とする独立セキュリティ団体であるBMKISS欧州のコンサルタント長で、米国人以外初のASIS代表となる。

エムデ氏はセキュリティとセキュリティ危機管理の経験が20年以上あり、オランダ・ハーグのInterseco社コンサルタント・サービス・マネージャ、欧州宇宙機関の欧州宇宙技術研究センターの代表などを歴任した。さらに、KPMGのフォレンジックと保全サービスのセキュリティ・コンサルタント、ABN AMRO銀行のグループ・セキュリティ副代表も経験している。

また、エムデ氏は、ダッチ・ソサイエティ・フォー・リスク・マネジメントとオランダOSACなどの団体で危機管理とセキュリティ分野の役員に就任していた。1998年にはCPP(Certified Protection Professional:総合セキュリティ・プロフェッショナル)の資格を得たのち、欧州地域副代表とベネルクス地方支部の役員と議長も務めた。現在CPPLレビューコースのトレーナーも担当している。

組織行動分析の修士号を英国ランカスター大学で取得し、ロッテルダムのエラスムス大学で経営管理学とオランダ法の学位を取得している。また、ISCが認定するCISS(公認情報シ

テム監査人)の資格も有している。

エムデ氏は会長就任にあたり、「ASISの本質的な価値は会員組織構成にある。長い実りある歴史を通じて、ASISはセキュリティ専門家の屈指の集団となった。代表としての第一の目的は、世界中で会員数を増やし、同時に全ての会員のためにメンバーシップをさらに豊かにすること」と語っている。

ASIS Internationalは1955年設立の団体で、毎年ASISセミナーと展示会を開催し、セキュリティに関する教育プログラムと資料を開発し、セキュリティ専門家の効率性と生産性の向上に尽力している。また、ASISは、ビジネス、メディア、政府機関と社会に対するセキュリティ管理の役割と価値も提唱している。メンバとセキュリティ・コミュニティに対して全てのプログラムとサービスへのアクセスを提供し、高度で先進的なセキュリティの発展を牽引している。

さらにASISは、CPP(総合セキュリティ・プロフェッショナル)、PSP(物理セキュリティ・プロフェッショナル)、PCI(認定プロフェッショナル調査士)の資格制度を制定している。これらの資格は3年毎に更新する。現在数は約6,500人。

日本にもASISインターナショナル日本支部(www.asis-japan.org/)があり、月次セミナーを開催している。

IP化が、EMEA地域の侵入検知市場に影響を及ぼす

セキュリティ部門を通じて公衆交換電気通信網(PSTN)からインターネットプロトコル(IP)への移行は、侵入検知システム(IDS)の機能に影響を与える。この移行は、映像検証の統合を可能にするが、通信サービス供給者には、通信サービスにIDSを組み込むことを要求する。この方法では誤報を減らすだけでなく、IDSのための別の流通チャンネルを必要としない。

フロスト&サリバンの報告書では、市場規模は2010年の20億ドルは主に住宅、商業、重要な基盤部門からの収益で、2017年までに21.1億ドルに到達すると推定している。また、IDSの市場が最近の不況から十分に回復するにはまだ時間がかかると見ている。収益の大部分を上げている小売分野の減速が、特にIDS市場に影響を与えている。厳しい経済状況で減少している市町村の支出がさらに追い打ちをかけて、セキュリティ・システムのアップグレードを妨げている。IDSは、企業にとり

映像監視よりも安価で魅力的だが、支出減少が両刃の剣になる。しかし、常にセキュリティを必要とする大規模分野では、IDS市場の成長は確実である。

自らの事業活動と将来の予測を向上させるためには、IDS各社は主要セキュリティ・サービス供給者からの受注契約の獲得に集中する必要がある。既にブランドを確立し、経済が整備されている市場以外では、新興のEMEA諸国で市場占有率を獲得することに注力する必要がある。これらの新興成長市場に参入する時に、映像解析と映像ビデオ検証などの新しいソリューションを強調することも有益となると思われる。

また、供給側は自社製品が市場に必要な基準を満たすことを実証する必要がある。「革新能力の欠如により、中小企業は負の新しいEN 50131基準の強化によって影響を受けるだろう」とフロスト&サリバン社ルトコフスキ氏は指摘している。

アナログ プラス IPビデオ 一本の 同軸ケーブル

インターシルの新**SLOC**技術により、既存の同軸ケーブル・インフラを利用しながら、高品位IPビデオへの移行が可能になります。

- 一本の同軸ケーブル上でCVBSとIPビデオを同時に伝送
- IPカメラのケーブル伝送距離500mを実現
- ライブ・ビュー遅延の解消
- 自動ビデオ冗長化機能

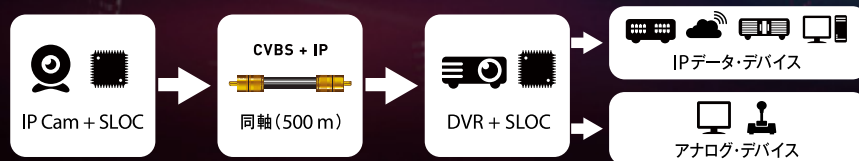
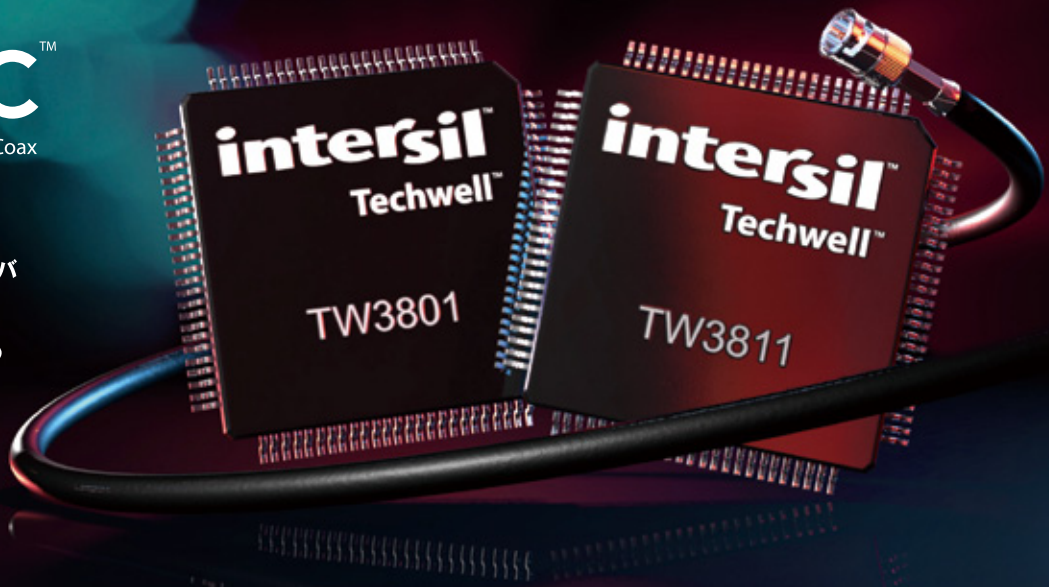
intersilTM
TechwellTM

slocTM
Security Link Over Coax

TW3801: カメラ
モデム PHY IC

TW3811: レシーバ
モデム PHY IC

アナログとIP技術の
新たな融合により、
デジタルIPビデオ
監視技術の世界が
さらに広がります。



SIMPLY SMARTERTM

©2011 Intersil Americas Inc. All rights reserved.

▶ 詳細は **INTERSIL.COM/SLOC**

インターシル株式会社 〒108-0073 東京都港区三田3-11-36 三田日東ダイビル6階 TEL.03-5439-2311 www.intersil.com

HDカメラが、車載映像監視市場でのシェアを拡大

IMSリサーチ社は携帯用映像監視市場に関する報告書で、圧縮の状況下にある全米警察の予算にもかかわらず、警察車両用オンボードHD(ハイビジョン)カメラ市場は今後4年間で20%以上成長すると予測している。

4REソリューションは現在、映像監視市場の警察仕様で設計された唯一の車載用HDソリューションである。しかし、他の車載映像監視機器メーカー数社が、現在9～12ヶ月以内に市場に提供する計画のHDソリューションを開発している。

IMSリサーチ社オリバー・フィリップ氏は、同報告書で「HD映像の鍵となるのは、単純に高画質の映像である。802.11、AC、カメラの価格が下落、圧縮方法はより高度になり、新しい無線仕様を搭載して、迅速かつ効率的に大量のデータを処理

するというHDカメラの使用方法が現実的な選択肢になる」と評している。

その一方、同氏は、HDカメラを使用しての主な問題として、映像録画の状態での継続使用、警察署が保管しなければならない期間の長さ、証拠採用時の映像記録365日分を必要とする米国情勢を挙げている。さらに、圧縮方法によっては、いくつかの要因でHDでの記録データ量が増加する可能性がある。そのため、HDDのストレージコストが大幅に増加することになる。

同報告書は、HDカメラ市場は標準のカメラ市場よりもはるかに早く成長しているにもかかわらず、HDカメラは、まだ2015年に合計米国警察の車載用映像監視カメラ市場の15%未満を占めるにとどまると予測している。

商業ビル自動化システムの世界市場、2021年には146ドル億ドルに到達

パイク・リサーチ社の新しい報告書では、商業ビル自動化システム市場は、2011年725億ドルの規模から2021年には1464億ドルになり、今後10年間で倍増すると予測している。

同社エリック・ブルーム氏は、「自動化システムが、建物の安全性とエネルギー効率であることを確認するためのコア技術を提供している。特に情報通信技術との統合に関連する自動化技術の最近の進歩は劇的で、これにより需要急増を生成し、システム能力を高め、従来以上にエネルギー管理のより深いレベルを有効にしている」と述べている。

この傾向は、建築業界を変革させる2つの重要な時流が支えている。第一は、特にアジア太平洋地域の発展途上国で驚異的な成長を受けている建築ストック内での積極的なエネルギー効率の目標である。第二は、ITネットワークと同じプロトコルと基盤機器を利用するためのBACnetやLONWORKSなどのプロトコルを介して、通信自動化制御とフィールド機器を構築し、インターネット・プロトコル機能を搭載し始めていることである。その結果、そのITサイロは、プロパティ管理、ソフトウェアおよび企業内で占有する伝統的な低周波音が消えている。

英国の監視市場は、2012年に確実に成長

キーノート社は、「CCTV更新市場報告書2012年版」追補版を発表した。同書は、機器の導入と保守点検だけでなく、表示コストを除いた英国CCTV市場の最近の変化を解説している。また、経済と建設業界からの発注増加と若干の回復により、CCTV市場がエンドユーザ価格で4.18億ドルに達し、2011年に前年比2.2%増加したと推定している。

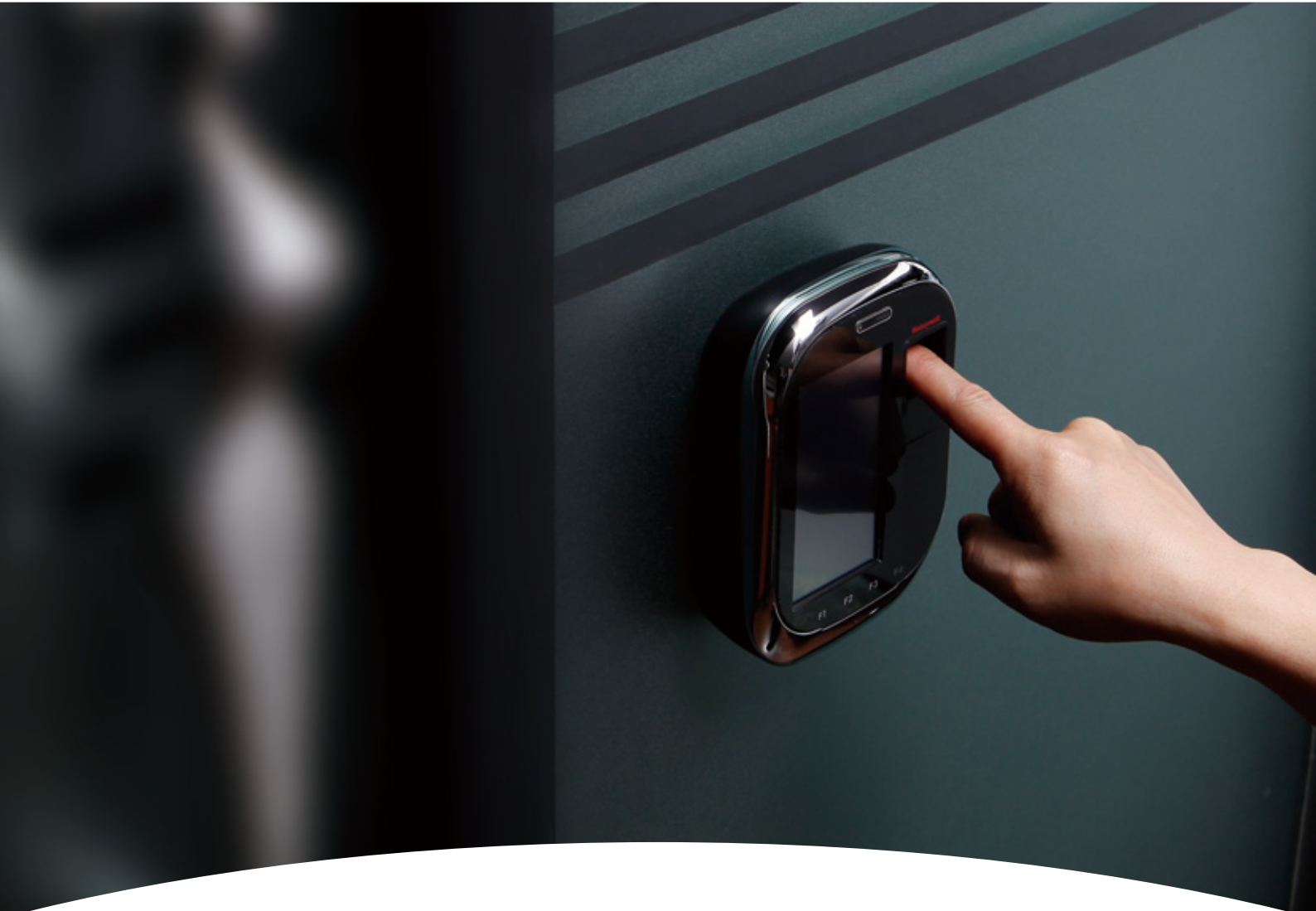
新規設置の減少や、改修や改善への投資を差し控えていることから、CCTV市場の状況は厳しく、多くの企業で、近年の景気後退の影響を受けている。しかし、最近、建設発注でCCTV製品の需要が増加し、成長し始めている。

CCTV市場の今後の需要見通しは有望視されている。英国で

は、アナログCCTVシステムがまだ広く使用されているが、アナログ信号をデジタルに変換する機能を有する新システムは、比較的簡単に導入することができる。インターネット・プロトコル(IP)技術と無線カメラを組み込むためのCCTVシステムをアップグレードするという巨大な潜在力もある。

テロや犯罪行為への関心と反社会的行動の継続的な脅威は、監視当局と英国に拠点を置く企業の大多数のために不可欠だ。CCTVはまた、公共交通機関の抑止力として作用することで、危険領域へのアクセスを監視し、公共の安全に貢献することができる。そして、技術統合は、より高いセキュリティを提供し、火災・防犯警報機器の誤動作の発生を減少させる。

Honeywell Fingerprint Solution



デュアルセンサー 指紋認証リーダー HON-FIN シリーズ



半導体 内部皮膜センサー HON-FIN550/FIN750モデル

HON-FIN550、HON-FIN750、次世代ケーブル式 / ワイヤレス式デュアルセンサー指紋認証リーダー販売開始 デュアル内部皮膜センサー技術は、既存の光学的なセンサーの最高水準による100% 近い認識率を提供いたします。

- デュアルセンサー (光学 + 半導体)
- 半導体 内部皮膜センサーによる偽造指紋判別
- POEおよびWIFI使用で設置が容易
- 4.3インチ カラータッチスクリーン、HON-FIN750モデル

Honeywell

Honeywell Security North Asia

(〒105-0022)東京都港区海岸1-16-1ニューピア竹芝サウスタワー21F(受付20F) 電話: 03-6730-7195 FAX: 03-6730-7229
5F, Sangam IT Tower 1590, Sangam-Dong, Mapo-gu, Seoul 121-835, Korea
Tel: (82)2-799-6395, 6066 Fax: (82)2-799-6188 www.honeywell.co.kr/security/english

HD-CCTVの基礎

CCTV

CCTVはClosed Circuit Televisionの略称で、閉回路テレビジョンすなわちケーブルで結ばれたカメラとモニタ間だけの閉じた回路による遠隔映像システムを指す。BNCコネクタと同軸ケーブルでカメラとモニタを接続している。セキュリティ産業では、これまでアナログ信号により映像を伝送するシステムそのものを指すことが多い。

世界にはテレビのアナログ信号がNTSC、PAL、SECAMの3方式があり、日本ではNTSCを採用している。NTSC方式は29.97fps(1秒あたり29.97枚の映像)を525本の走査線に分割して放送する。その後、NTSCアナログ映像信号をデジタルに置き換えて伝送する規格であるSD-SDIが制定された。

SD-SDI

SD-SDIは、Standard Definition Serial Digital Interface(標準品位での連続デジタル接続)の略称で、NTSC映像信号のデジタル伝送、すなわちアナログ信号をデジタル信号に置き換えて標準品位の映像を伝送する規格で、無圧縮のデジタル映像と8チャンネルのデジタルオーディオが伝送できる。つまり、映像はアナログ信号をデジタルに置き換えただけであり、解像度は標準品位のままである。

HD-SDI

これに対して、HD-SDIは、High Definition Serial Digital Interface(高品位での連続デジタル接続)の略称で、連続出力するデジタル・データを意味するビット・ストリームが、SD-SDIの270

Mbpsと360Mbpsに対して1.4835 Gbpsまたは1.485Gbpsと高く、非圧縮の高品位映像1チャンネルとPCM音声信号を16チャンネル伝送することができる。日本ではBTA S-004として規格化されている。HD-SDIでは、光ファイバ・インタフェースとHD-SDIにより広く利用されている同軸ケーブル・インタフェースが規定されている。

HD-CCTV

HD-CCTVはHD-SDI伝送システムを利用したCCTVシステムで、世界から60以上の企業が加盟しているHDcctv Alliance(HDcctv連合)が、HD-CCTV標準化および市場活性化の活動を行っている(<http://www.highdefcctv.org/>)。現在の規格は、HDcctv V1.0となっている。

HD-CCTVの主な特長

現在既に実現している主な特長として、下記の項目がある。

- ・狭軌の同軸ケーブルにおける100m以上の伝送距離
- ・プラグ・アンド・プレイによるマルチベンダの相互運用性
- ・標準バージョンによる将来の互換性
- ・RG59同軸ケーブル100mにおける720p(25/30fps)、720p(50/60fps)および1080p(25/30fps)の送信

HD-CCTVの優れた性能

HD-CCTVの優れた性能を具体的にまとめると下記の通りとなる。

- ・現行の同軸ケーブルの利用ができる。
- ・画像伝送遅延が極めて少ない。

- ・現在のPCのようなプラグ・アンド・プレイが可能。
- ・非圧縮のデジタル画像の提供。
- ・1回の画面表示を1回の走査で行うプログレッシブ・スキャン
- ・720pのHD画像と1080pのフルHD画像の提供。
- ・1080pのフルHD映像のライブ表示と録画が可能

さらに、世界標準規格が確立されていることから、長期にわたり使用することができる。しかも、設置工事および保守も従来のアナログCCTVとほとんど変わらず簡単にできる。

HD-CCTVのシステム構成

非圧縮のフルHD映像をライブ表示し録画するHD-CCTVのシステム構成は、極めてシンプルである。その中でも最もシンプルなシステムは、HD-CCTVカメラとHD-CCTVレコーダを同軸ケーブルで接続するだけのものだ。もちろん、経年劣化していない既設の同軸ケーブルならば、そのまま使用することで、導入費用を抑えることもできる。

新設の場合、RG59の同軸ケーブルを使用することで、伝送距離を150mとすることができ、さらに光学式リピータを中継することで、最大1kmまでケーブル長を延ばすことができる。

まとめ

これまで映像監視システムは、従来のアナログCCTVかIPネットワークシステムのいずれかを選択するのが大半だったが、今後はHD-CCTVを加えて検討することが賢明な策となる。

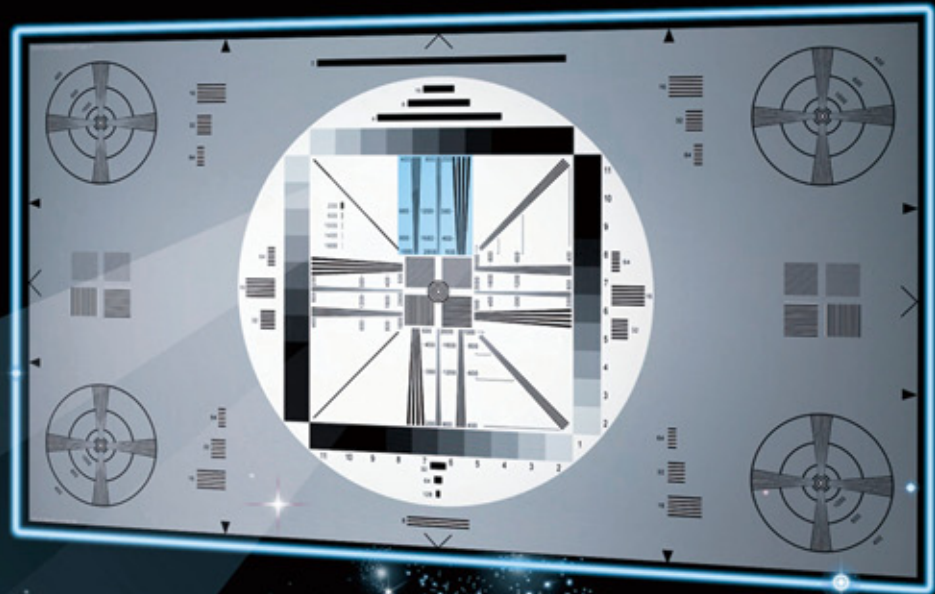


WEBGATE

Premium to your HD-CCTV

KOSDAQ
LISTED COMPANY

* Can you see Over 1,200 TV Line At 1080p?



* This is the Premium Technology

WEBGATE Division

Daemyung Enterprise Co., Ltd.

www.webgateinc.com

sales@webgateinc.com



HD800H World's first 8ch HD-CCTV DVR by HDcctv alliance

- Max 1080p@120fps or 720p@240fps recording/playback
- Full HD resolution over 1,200TVL in playback
- External Storage up to 64 TB
- Dual codec(H.264/Jpeg) / Multi-Stream(Full HD/HD/D1/CIF)

日本総販売元

TENPO PLANNING 株式会社 店舗プランニング

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2F

電話 / 03-3378-4901(代) FAX / 03-3378-4906

営業所 / 仙台・名古屋・大阪・福岡

C1080B World's first HD-SDI
1080p camera by HDcctv alliance

- HD 1080p@30fps (HD-SDI SMPTE 292M)
- Over1200TVL, Full HD video out
- High-performance under low illumination



C1080B/BM



C1080VD



C1080D



セキュリティ産業、 2012年の予測

2012年となった今、欧州と米国の事態の展開に世界の注目が集まっている。どの業界も金融市場を通じて繋がっており、世界的な景気情勢は全ての人に影響を及ぼす。混迷の続く世界金融市場は、セキュリティ業界にどんな影響を及ぼすのだろうか。本稿では、市場の主な情勢について解説するとともに、業界の有力企業が、世界経済の不確実性やわずか3年で2度目の不況に見舞われる可能性に備えて、革新と変革そして適応に努める要因や要求について解説する。

2012年のセキュリティ市場を動かすと予測される2つの大きな時流は、財政不安の渦中における安全への要求と、先進国から新興国市場への焦点の移動だ。

セキュリティ業界各社は、2012年に向けて、従来よりも独自性の高いアプリケーションに力を入れる必要がある。地域密着型の研究開発(R&D)やマーケティングから、より良い成果が得られる可能性がある。IPのブームはまだ続き、IPへの理解が深まり、この動きに参加する企業が増えることで、業界への好影響が予想される。業界各社は、ソリューションの付加価値、すなわちエンドユーザが特定のセキュリティ製品を選ぶ理由についても考察する必要がある。



ここ数ヵ月で最大のニュースといえば、欧州における混乱だ。欧州の経済状態の今後にはまだ多くの懸念がある。欧州圏の危機を受けて、不況が再来する、回復に長い年月が必要になる、などの噂が盛んに取り沙汰されている。世界経済がこのような状況にあるため、資産保全要求の増大と、新興市場への進出が、セキュリティ業界における2つの大きな流れになっている。

セキュリティのニーズが拡大

金融不安の時期にもセキュリティの要

求は衰えることがないため、セキュリティ業界が不況に強いことは周知の通りだ。不況下にあっても、企業、官公庁、そして一般家庭は、手持ちの資産を守ることを、最優先ではないにしても重要と考えている。2008年の金融騒動後、フロスト&サリバン社業界アナリストのナヴィン・ラジェンドラ氏は次のように語っている。「先般の景気後退の時期には、金融危機のため多数のセキュリティ事業が延期になるのではと不安に思った企業が多かった。しかし、事業は計画どおり続行された。このことから、こうし

た景気情勢でも、セキュリティ事業の推進力はかえって世界的に強まる傾向があることがわかった」。

このような景気情勢において、手持ちの資産を守ることは2つの理由から重要だ。第一に、財政面での締め付けが厳しくなると、企業が利益を上げることが難しくなるため、既に所有している資産の保全が一層重要になる。「セキュリティを確保しなければならないという重圧はかつてないほど高まっているが、資金は抑えられる一方だ。セキュリティの強化はもはや単なる要望ではなく、必須事項



フロスト&サリバン社 航空宇宙・国防・セキュリティ担当プログラムマネージャ パラジ・スリムーランサン氏



ノーバイン社常務取締役
バリー・シェイクスピア氏



ベリント・システムズ社
マーケティング担当副社長
デブジット・ダス氏



IMSリサーチ社
上級研究員
ゲリィ・ウォン氏



TDSi社
常務取締役
ジョン・ダヴィーズ氏

になっている」とフロスト&サリバン社航空宇宙・国防・セキュリティ担当プログラム・マネジャのバラジ・スリムーラン氏は話す。「設備投資を1ドルの無駄もなく有効利用することが、日を追って難しくなる」。

第二に、資産を危険にさらす犯罪や事件の発生の確率が高まっている。「失業者の増加から懸念が強まり、小売企業がセキュリティのニーズを強く意識するようになった」とノーバイン社常務取締役パリュ・シェイクスピア氏は言う。「世間一般にとっては試練の時期が、業界によっては好機になる」。

犯罪率の上昇を示すデータもある。監査・税務・コンサルティング企業のKPMG社は、詐欺と不正行為に関する調査をオーストラリアとニュージーランドで2年ごとに行っている。同社の2010年報告書によると、世界不況後、詐欺の被害総額は、2008年の3億110万ドルから2010年の3億4,540万ドルに増加している。世界の小売企業を対象とした盗難の実態調査でも、2007年以来最悪の水準を示し、損失金額は全世界で前年比6.6%増、金額にして1,190億ドルになっている。

犯罪に加えて、社会不安も世界的に増大している。チュニジアのデモ行動に触

発され、アラブ世界の各地で政治運動が活発化し、チュニジアやエジプト、リビアで政府が転覆する結果になった。こうした事態の背景にある原因は複雑だが、失業率や物価に反映された世界経済がその一因であるのは間違いない。同じように、ロンドンで始まり英国各地に広がった8月の暴動には、政府の支出削減と若年層の失業率が影響している。

社会不安の高まりは、セキュリティの要求を強く意識させる作用がある。スリムーラン氏は次のように指摘する。「欧州でのテロの脅威、社会不安、犯罪率の上昇は、セキュリティ支出の増大につながると予測される。不況により国防費は削られたが、国民と基盤を予防的に脅威から保護する手段として、各国ともセキュリティへの投資を考えている」。

地方紙エジプティアン・ガゼット紙によると、エジプトでは「アラブの春」以降、監視カメラの売り上げと導入実績が伸びている。ロンドンでは暴動以来、映像監視の容認度が高まり、巻き起ろうとしていたプライバシー権に関する議論が沈静化している。英国警備業協会(BSIA)



アジア・セキュリティ・テクノロジー社
ケン・リー社長



TVTデジタル・テクノロジー社
海外事業担当取締役
ジョウ・キウ氏

加入企業が行った調査では、公共場所での映像監視を行っているのとわかると安心感を覚えると回答した人が76%に上り、全回答者の62%が、近所にもっと監視設備を導入してほしいと実際に希望している。

社会不安による事件の発生を予測するのは難しいが、セキュリティ業界各社は、それを踏まえて今後に備える方法を変えつつある。「こうした様々な事件の結果、関係当局は従来よりも高度な対策を講じることができるよう、先手を打って計画を立案し、より多くの事業に資金を投入するようになった」とベリント・システムズ社副社長デブジット・ダス氏は語る。

こうした危機への対応が、2012年のセキュリティ市場を前進させる原動力の1つになる。フロスト&サリバン社とメモリー社は、世界のセキュリティ市場が

■ 2010年と2012年のセキュリティ市場規模と成長率の予測

2010年			
市場規模 (百万米ドル)	映像監視	入退管理	侵入防止・ 国境警備
APAC	1,955.4	655.2	949.0
EMEA	3,171.1	921.9	1,720.0
南北米	5,101.8	1,540.1	1,944.0

2010年			
市場成長率	映像監視	入退管理	侵入防止・ 国境警備
APAC	14.8%	19.6%	7.0%
EMEA	5.7%	12.6%	5.7%
南北米	9.5%	17.1%	5.5%

2012年			
市場規模 (百万米ドル)	映像監視	入退管理	侵入防止・ 国境警備
APAC	2,714.3	930.5	1,240.0
EMEA	3,543.3	1,205.2	1,853.0
南北米	6,145.7	2,162.0	2,135.0

2012年			
市場規模 (百万米ドル)	映像監視	入退管理	侵入防止・ 国境警備
APAC	18.4%	18.9%	9.0%
EMEA	5.9%	14.8%	5.9%
南北米	9.5%	19.0%	6.0%

今後5年にわたって成長を続けると予測している。ムーリ社によると、セキュリティ市場は回復力に富み、需要は5年間で3.7%の年平均成長率を示すと見ている。IMSリサーチ社上級研究員ガリィ・ウォン氏も同意見で、「ギリシャや他の劣勢な欧州諸国が破たんしても、セキュリティ、正確にはセキュリティ支出は成長すると確信している」と語る。

新興市場への進出

マクロ経済のレベルでは、景気の不確実性から、セキュリティ企業が新しい地域に進出する動きも見られる。先進諸国の債務問題は、新興市場の力強い成長と著しい対照を示している。世界銀行が発表した報告書「GDH2011(世界開発の展望2011年)」では、新興市場を中心に長期的な成長が予測されている。「1つのグループとして、新興経済圏は、2011年から2025年までの間に年平均4.7%で成長する。一方、先進経済圏は、同じ期間中の成長率は2.3%と予測され

る」。2012年はこうした長期的な方向への第一歩になる。国際通貨基金(IMF)による最新の報告書「World Economic Outlook(世界経済概説)」では、2011年末の世界経済の成長率は4%と予測し、2012年も同じ水準を維持するものと思われるが、地域格差が大きいとされている。「新興経済圏の2011年予測成長率は6.4%と良好な数字だが、先進経済圏の成長率はわずか1.6%だ」。

先進国と発展途上国の2つに分化した世界観は、セキュリティ業界にも当てはまる。従来の主戦場は、米国と西欧州、特に英国だった。だが、こういった諸国は成熟市場のため、ほとんどのエンドユーザがすでにセキュリティ製品を導入済みだ。それに加えて、国家債務レベルの問題が金融機関の融資や新築工事に影を落とす可能性があり、2012年の先進国市場ではビジネス機会が少なくなりそうだ。

セキュリティ業界では、一部の企業が、アジアや中南米などの新興市場に重点を

移すことによる危機軽減を検討している。ある種の不確実性がつきまとうとはいえ、中国の持つ巨大な潜在力は、投資家や企業を惹きつけている(アジアと中国についての詳しい検証は、囲み記事を参照)。新興市場は着実に成長しており、近年では世界的な成長を支える原動力になっている。TDS社常務取締役ジョン・ダヴィーズ氏は、中国と中東を重視するとともに、西アフリカと東南アジアの新しい市場への進出を決定した同社の方針について、「当社では電子セキュリティ・システムへの投資に関する市場の対応を探る指標として、1人あたりのGDPのほか、GDPの成長率に着目している」と言う。

新興市場は、セキュリティ・システムの浸透度が低いいため、先進国よりも潜在力がはるかに大きい。グローバル・インダストリー・アナリスト社は、電子入退管理システムの世界市場について、声明で次のように述べている。「この市場は、従来、欧州や北米などの先進諸国が収益

アジアと中国に注目

心もとない欧州圏をよそに、それ以外の市場への進出を検討している企業が多い。そうすることで、ポートフォリオの多様化と地域危険の最小化を図ることが可能になるからだ。近年、最もスポットライトを浴びているのはアジアだが、これには確かな根拠がある。アジアには中国や台湾、ロシアや韓国、インドやインドネシアなど、世界で最も成長率の高い、大きな潜在力を秘めた経済圏が数多く存在するからだ。

HIDグローバル社(Assa Abloyグルー

プ)アジア太平洋地域担当常務取締役サイモン・シーウ氏は、「当社では、成長力が強いと思われる新しい市場選択を対象にしている。2008、2009年の景気後退以来、当社はアジアで大きく成長したが、この市場はまだ飽和状態ではない。成長の余地は非常に大きく残っていて、適切なソリューションでさらに需要を喚起すれば、数年で欧州営業部門を追い抜くことも可能だと考えている」と語る。

ジェネテック社ワールドワイドセールス&ビジネス開発担当副社長ガイ・チェ

ナルド氏は、APAC市場の潜在力を強調する。「当社の総売上高の約6%を占めるAPACは、当社にとって最後の開拓地だ。当社の2012年における全体的な成長率目標は36%で、映像で30%以上、入退管理で70%以上の成長を見込んでいる」。

ハネウェル・セキュリティ社APAC担当マーケティング取締役ダニエル・チャウ氏は、アジアの成功についてやや離れた視点から説明する。「APACでは、政府と警察の努力、生活水準の向上、外国

に貢献していたが、アジア太平洋地域 (APAC) と中南米そして中東などの発展途上国が、今後の成長を強力に支えるものと予測される」。

この傾向は、各地域での製品別市場規模や成長率に反映されている。2010年以來、市場規模では一貫して南北米大陸が最大であり、次いで欧州と中東とアフリカ (EMEA)、その後が APAC という序列だったが、成長率で見るとこの序列は一気に逆転する。APAC の成長率は EMEA と南北米大陸よりも高く、特に映像監視市場で顕著で、APAC の成長率の 14.8% に対し、EMEA は 5.7%、南北米大陸は 9.5% である。2012 年もこの傾向が続くものと予測される。

先進諸国は成長率こそ低い、その市場が消滅するわけではない。それどころか、南北米大陸の入退管理市場は、2012 年も健全な成長を示すものと予測されている。さらに、市場規模だけに注目すれば、アジアはまだ EMEA や南北米大陸と肩を並べるに至っていない。「セ

キュリティ市場の成長を牽引するのは、地域別では引き続き欧州と北米だ」とスリム・ランサン氏は言う。

同じ理由から、新興経済圏が欧州圏の問題と無縁でいられるわけではない。IMF の「世界経済概説」によると、世界各国が相互に繋がりが強まっているため、今なお続く欧州圏の騒動は、新興市場を含めて他の地域をも巻き込むことが予測される。「新興経済圏は、現時点でこの動きの中心ではないが、明らかに影響を受けている。これまでのところ、新興経済圏の国々はこうした不利な展開をほぼ免れている。急変する資本の流れに対処する必要に迫られたものの、全般的には引き続き高い成長率を維持している」。

新興市場への進出の興味深い副産物は、セキュリティ製品の価格への敏感さが高まったことである。「東南アジアや中南米などの新興市場では、値引き競争が激化している」とアジア・セキュリティ・テクノロジー社社長ケン・リィ氏は語る。

は語る。「インドや中国、台湾や東南アジアなどの新興市場は、米国と比べると価格に非常に敏感だ」。

TVT デジタル・テクノロジー社海外事業担当取締役ジョウ・キウ氏が語っているように、低価格を追求するにしても、品質を犠牲にはできない。「製品の品質や信頼性に非常に問題のある二流、三流のメーカーが増えているが、当社は品質にかけては絶対に妥協しないという立場だ」。

人や財産の安全を守りたいという要求に後押しされ、2012 年もセキュリティ市場が上り調子であることが期待されるが、世界経済の重圧から、状況は地域によって異なると予測される。主力企業の多くが、既に一部の新興市場の潜在力に注目している。この動きは、セキュリティ製品の各市場においてどのような意味を持つのだろうか。次の記事で詳しく紹介する。



からの投資と設備投資が強力な推進力となっている。事実、この地域は IP ベースの映像監視の主力地帯だ」。

アジアに対する関心の多くが、とりわけ中国に向けられていることに疑問の余地がない。この「中華帝国」に不確実性がつきまとうのは事実だが、巨大市場の潜在力は世界中の企業を魅了してきた。タイコ・セキュリティ・プロダクツ社ワールドワイドセールス担当副社長デビッド・グリンステッド氏は「中国は新興市場ではない。既に抜きん出た存在で、成長率は並外れている。当社は中国への投資を 2 倍に増やした」と言う。

IMS リサーチ社によると、中国のセ

キュリティ・ブームは、2006 年、政府が中国全土を対象に「安全都市」計画を開始したことがきっかけで始まった。「この計画の結果、2008 年から 2010 年にかけて市場はピークを迎えた。この間に北京オリンピック、上海万博、広州アジア大会も開催され、成功を収めている。政府の景気刺激策として 6,000 億ドル (4 兆元) という巨額の資金が投入された」と調査担当取締役ポール・エヴァレット氏は語る。

フロスト & サリバン社の予測によると、中国の映像監視市場は、2015 年まで毎年 30% 以上の成長を続ける見込みだ。IP 映像は、Vivotek 社ブランドビジ



ネス取締役ウィリアム・クウ氏が次のように語っている。「政府の継続的な指導と完全なサプライチェーンにより、当社は、中国で2009年以来、非常に力強い成長を続けている。中国のIP映像の年成長率は33～35%だ」。

中国におけるIPベース映像の主な促進要因の1つが、HD映像需要の出現だ。「その好例が、スーパーマーケットとショッピングモール全店にHDセキュリティ・カメラの設置を義務づけた北京警察だ」とIMSリサーチ社上級研究員ボオ・ツァン氏は言う。

ボッシュ・セキュリティ・システムズ社会長兼社長ゲルト・ファン・イペレン氏は、中国でネットワーク映像が瞬く間に成功を収めたことを指摘する。「4年前の中国では、DVRの商談をしていた。ところが今はIPとHDに向かって加速しつつある。当初、2013年になれば中国が当社にとって第2位の市場に浮上するだろうと考えていたが、既に2011年の時点でそうなっている」。

入退管理市場もビジネス機会が豊富だ。HIDグローバル社(Assa Abloyグループ)の中国市場営業担当取締役エリック・チウ氏は、「世界全体から見れば、中国は当社にとって最大の市場ではないが、最高の成長率を誇る市場の1つで、

今後5年から10年にわたり、2桁の年平均成長率が続くと思込んでいる」と語る。

「今後の中国の入退管理市場は、空港や鉄道、商業施設や官公庁、病院を中心に、中規模事業(ドア数50～199)が高い比重を占める形で成長していくものと予測される」とエヴァレット氏は言う。「政府主導の大規模計画が姿を消し、今までより遙かに大規模の商工業事業に重心が移っている」。

アジアにおける価格への敏感さと利益幅の低下については先ほど触れたが、中国では面白い現象が起こっている。「中国市場には、両極端とも言える2つの傾向がある。一方では単価が鍵になり、それを非常に速いペースで変えるというやり方だ。そうかと思えば、システム・プランニングを抜き行っただけのために、エンドユーザがコンサルティングに30万～45万ドルもの大金を進んで投じる傾向も見られる」とシーメンス・ビルディング・テクノロジー社中国市場担当部長タイロン・ホアン氏は語る。

巨大な潜在力を備えているものの、未知の地域だけに進出には様々な課題がある。中国ともう1つのアジアの新星インドに見られる課題について、シーウ氏は次のように語る。「両国には2つの課題がある。まず、幼年期の市場のため、早

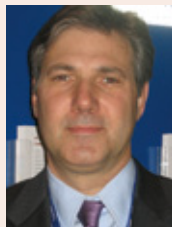
く成果を上げたいという意欲はあっても、未発達な経路で技術ソリューションを宣伝し、広めなければならない。もう1つは、知的財産の問題に余分な神経を使わなければならない点だ。こういった問題があったとしても、中国とインドには計り知れない成長の可能性がある」。

ジェネテック社アジア太平洋地域担当常務取締役チャールズ・クウシンス氏も同意見だ。「APACでの当社最大の課題は、ネットワークの伝道とカスタマイズだ。大規模なシステムを正しく稼働させるには、コンサルタント、チャンネルパートナー、エンドユーザが、複雑なネットワーク技術やストレージ技術を理解しなければならない」。

それでも、セキュリティ企業は過去2、3年間にトラブルへの対処に慣れ、アジアおよび世界各地で起こる変化に対応する準備を整えている。パナソニック・システム・ネットワーク社セキュリティAVシステム事業部グローバルマーケティンググループ所属アジア担当マネージャ、松本安司氏は、「2008年の不況、そして、2011年の震災と津波を経験したおかげで、当社は市場のどんな動きや不確実性にも、それなりに対応していく用意がある」と語る。



HIDグローバル社 (Assa Abloyグループ) アジア太平洋地域担当常務取締役 サイモン・シーウ氏



Genetec ワールドワイドセールス&ビジネス開発担当副社長 Guy Chenard



ハネウェル・セキュリティ社 APAC担当マーケティング取締役 ダニエル・チャウ氏



タイコ・セキュリティ・プロダクツ社 ワールドワイドセールス担当副社長 デビッド・グリーンステッド氏



Vivotek社 ブランドビジネス取締役 ウィリアム・クウ氏



シーメンス・ビルディング・テクノロジー社 中国市場担当部長 タイロン・ホアン氏



パナソニック システムネットワークス社 セキュリティ、AVシステム事業部 グローバルマーケティンググループ部門 アジア担当マネージャ 松本安司氏 ※現在はパナソニックシステムコミュニケーションズ社(中国)勤務



赤外線照明器とデイナイトカメラの 組み合わせにより、 夜間や照明を落とした場所の監視も 効率的に行うことが可能！

●白トビの少ないBlack Diamond機能

AEGIS赤外線照明器は、より広範なビームパターンにより、光を曲げながら、あらゆる被写体に照度を合わせ、視野全体を均一に赤外線照射するBlack Diamond機能を搭載。暗い場所でも、人の顔の認識や、物体の存在の確認などがしやすくなります。

AEGIS赤外線照明器は、デイナイトカメラと組み合わせることにより、大きな効果を発揮します。Boschネットワークカメラとの組み合わせは、もちろん、他社のデイナイトネットワークカメラと組み合わせても、効率的な夜間監視を実現することができます。

●Constant Light機能

LEDを使用しているため電球の交換は不要。温度や経年変化によるLEDの劣化を補正するConstant Light機

能を搭載。導入時から製品交換に至るまで、長期間にわたって一定の照度を維持することができます。

●豊富なラインナップを提供

AEGIS赤外線照明器は、850nm/940nmの2種類の波長について、投光範囲10°~120°、照射可能距離220m~20m、最大照射幅25m~120mまでの6機種を提供。ビームパターンは、10°、20°、30°、60°、95°、120°を可能にするマイクロ屈折レンズ技術を採用。使用環境に応じて、豊富なラインナップから選択することが可能です。

●高輝度表面実装LED

光の出力効率と熱管理の改善により、動作時の発熱を抑制。必要電力と消費電力を押さえ、長寿命、高い信頼性、運用コスト削減を実現しています。

また、電源は、DC12V(3.4A)もし



AEGIS赤外線照明器(型番:UFLED)

くはAC24V(1.7A)を使用可能。設置は、迅速かつ簡単に行えます。

●AEGIS赤外線照明器の用途

AEGIS赤外線照明器は、市街地監視、多数の人々が集まる施設、商業地域、集合住宅、空港、港湾施設、鉄道施設内の人目から隠れた場所、重要文化財、駐車場、その他、夜間、暗い環境において、高精細な画像が要求される場所に最適です。



従来の赤外線照明器を使用した場合



AEGIS赤外線照明器を使用した場合

Boschセキュリティ製品に関するお問い合わせ先

Bosch Security Systems日本総代理店
ホーチキ株式会社
インテリジェント・ビデオ・システム部
TEL. 03-5759-4164
<http://www.hochiki.co.jp/business/cctv/>

世界中の法的機関(警察)が採用

AutoVuは、世界を代表するIP車番読取(LPR: License Plate Recognition)システムです。



AutoVu Sharp 2



AutoVu Sharp X



ターゲットの行動範囲を即座につかめます。
車体の色や特徴も即座に確認。
従来のコスト1/5以下、信号機にも簡単設置。



世界最小HD LPRカメラ

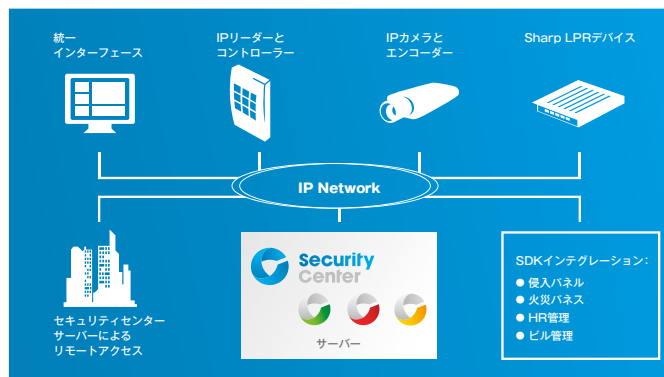


ターゲットの行動範囲を即座につかめます。
車体の色や特徴も即座に確認。
従来のコスト1/5以下、信号機にも簡単設置。
圧倒的キャプチャーレートは他の追従を許しません。
車載読取対向速度300km以上。
ナンバープレートをセキュリティに導入する事で
危険予知能力は圧倒的に向上します。
未知のナンバーで即時アラーム、警戒態勢をレベル4へ。
登録ナンバーなら車体写真、顔写真で照合…。

Security Centerは、 シンプルかつパワフル、 IPビデオ監視、入退室管理、ナンバープレート認識

システムを単一ソリューションへ完全融合させた、革新的な統合セキュリティ・プラットフォームです。直観的なインターフェイスで、パワフルにシームレスに、同時に複数のセキュリティ安全管理ができます。操作性はインストールサイズに影

響されません。Security Center には強力な機能が満載です。強力な機能とシンプルさの合体。これによってセキュリティセンターは最先端で費用対効果の高い統合セキュリティソリューションのひとつとして業界で認められています。



先進性 (全体の一部の解説です。)

センター集中のアラーム管理

異なるシステムのためアラームモニタリングが切り離される従来の方法を避け、お客様のトータルなセキュリティ環境に合わせて環境設定、モニターし、アラームに対応します。

視覚追跡

危機的な瞬間にオペレーター作業をアシスト。リアルタイムまたは再生モードで、容疑者を追跡する際、タイリングディスプレイの範囲内で、カメラから隣接したカメラへ切り替えます。

マルチテナント機能

テナントまたは管理サービスアカウント毎にオペレーションを分割し、領域確保機能でサイトそれぞれに特権を割り当てます。個々のサイトマネージャまたはテナントは、自己サイトからどのセンター集中のモニタリングでも平行して管理できます。

Genetec ソフトウェア開発キット (SDK)

ビル管理システム、企業資源計画システムERP、侵入発見システムを統合するか、またはセキュリティセンターのオープンで既製SDKにより、カスタムビジネスアプリケーションを開発できます。Security Center はお客様のニーズに正確に応えます。

フレキシブルな構成オプションが用意されています。

- 統合IP LPR、ビデオ監視と入退館コントロールプラットフォーム
- 独立型IPナンバープレート認識プラットフォーム*
- 独立型IPビデオ監視プラットフォーム*
- 独立型IP入退館コントロールプラットフォーム



セキュリティ、小売企



業の売りに貢献

「ぶっ倒れるまで買い物をする」という言葉があるが、このフレーズは今の小売業者からすれば縁起でもないものだ。不況により消費者の財布のひもが固くなり、小売企業はまさしく売り上げ低下を目の当たりにしている。見境のない万引行為が世界的に横行するようになったわけではないが、小売店の売り上げは伸び悩んでいる。個人消費が落ち込んだため、警備部門は予算の切り詰めを余儀なくされている。

しかし、こんな状況にもかかわらず、善戦している小売企業もある。ディスカウント商品に人気を集まり、米国のチェーンのファミリー・ダラーやダラー・ジェネラルなどは、数百カ所の店舗にホスト型監視ソリューションを導入した。これは、小売企業や警備会社に、少ない先行投資で高い投資収益率 (ROI) をもたらす。

正反対の分野に目を向けると、高級品の小売が好調だ。所得が中間所得層を対象とする小売企業が、ほんのわずかな利幅で細々と生きながらえているのに対し、ハイエンドの小売企業では、高額商品が飛ぶように売れている。全世界の小売企業を対象とした盗難の実態調査によると、2010年、セキュリティへの支出は全体で10%増加し、損失金額は5.6%削減されている。万引は450億ドル規模の問題で、損失金額を削減できるのであればどんな対策でも投資に値する。

しかし、セキュリティに対する一般的な考え方は、まだ消極的である。セキュリティは投資ではなく、先行費用と捉えられている。損失金額の削減に役立つわけでもない場合、予算計上する必要があったり、ネットワーク帯域幅を大量に消費するようなソリューションでは、警備部門の責任者は導入理由の説明に苦心することになる。セールスの底上げに結びつく業務の効率化という話であれば通りやすいことから、セキュリティ関連の商談は様変わりしつつある。万引を発見する代わりに生産性を上げる目的で、映像や資産管理分野のセキュリティ技術が導入されつつある。少ない利幅で経営を続ける小売企業にとり、重要なのはメリットを示すことだ。

本稿では、小売業におけるセキュリティの市場とその進化について検証する。どのような形でソリューションが導入されているか、どのような実績が上がっているか、そして今後の方向性について解説する。

市場予測が悲観的でも買い物という行動は止む気配がない。個人消費は低調なもの、完全に止まったわけではないため、セキュリティ業界にとり小売業界は重要な市場になっている。2010年の全世界の小売企業を対象とした盗難の実態調査によると、損害金額は全世界で5%減の1,000億ドル(小売業の売上の1.27%に相当)だったが、一つの問題であることに変わりはない。

前述の調査によると、万引防止システム(Electric Article Surveillance: EAS)や映像などのセキュリティ機器に対する支出総額は83億ドルで、小売業の売上の0.34%に相当する。「小売業全体で、約620万人の万引犯と従業員の窃盗犯が検挙され、2009年から約40万人増加している」とアクシスコミュニケーションズ社小売事業開発担当取締役ヨハン・アケッソン氏は語る。

2008年の不況以来、多くの小売企業が警備予算を縮小している。「売上に対する損失金額の割合は、世界平均で1.35%から1.43%に増加した」とチェックポイント・システムズ社グローバルマーケティング担当副社長スティーブ・

セル氏は語る。

ボッシュ・セキュリティ・システムズ社事業開発担当クラウド・リーランド氏によると、全世界の小売業向けセキュリティ機器市場は、2015年まで6%の年平均成長率を維持するという。この成長のほとんどが映像の売上で、侵入検知と入退管理ソリューションが続く。

IMSリサーチ社によると、最大市場はアジアで、次いで南北米大陸とEMEA(欧州、中東、アフリカ)だ。「中国は潜在的な成長力が高い」とTeleEye社CMOワラス・マ氏は話す。「欧州と米国では、一部の小売チェーンが全面的に廃業したり、規模を縮小したりする傾向が見られる」。

Hikvisionデジタル・テクノロジー社市場アカウント・マネージャのジュン・ツォウ氏によると、中国では小売業売上の約2%に相当する損失金額が出ている。この損失金額のうち、万引が占める割合は64%だ。

不況対策

小売業界は金融不安に対し、最も敏感に反応する市場の1つだ。「私の経験で

は、景気展望が思わしくない場合、中級品から廉価品を扱う小売企業がセキュリティ支出の削減を開始する」とアダムコファール・イースト社営業兼マーケティング担当取締役パトリック・リム氏は言う。「これに対し、高級品を扱う小売企業はより一貫性があり、不況になると支出を増やす傾向がある」。

支出は必ずしも増えたわけではなく、下降傾向にある。「当社はかつてハイエンドの小売企業に力を入れていたが、そのような企業は今の市場では苦戦している。買い得な商品が求められているため、アウトレットやディスカウントショップにチャンスがめぐってきた」とプロテクション・ワン社全国アカウント・マネージャのジム・シェファード氏は話す。「安売りのブームが到来した背景には、他の小売業者が各地で店舗を閉鎖した結果、ディスカウント業者に適した不動産物件に空きが出たという事情がある」。

小売および商業系の顧客には専門部署が一元的に対応し、オペレータが経営陣とのやり取りや顧客の問題解決についての研修を受けている。「一般に、小売企業でセキュリティや保安技術への支出の決定権を握っているのは、警備部門だ」とシェファード氏は指摘する。「この部門の重要目標の1つが、損失金額を減らすことだ。カメラや警報装置の導入は、それら自体が必要だからではない。損失金額の削減という形で相応の見返りがあり、1~3年でROIが達成できる場合に技術への投資が行われる」。

予算が削減されたため、警備部門は限られた予算を有効に活用し、問題に対応するソリューションを探さなければならない。「新規導入についての商談なら、最初から用途に合わせてシステムを設計するだけの贅沢ができるということだ」



とインタロジックス社UTC火災&セキュリティ部門映像・通信担当営業責任者コスタス・メロス氏は語る。「現実には、既存の小売企業がそれほど人手をかけられない拠点への拡張を行ったり、既存の店舗内のインフラを使用しなければならぬといった課題がある」。

予算縮小は、小売企業の利益減少を意味する。「不況により消費者支出が鈍化したため、値下げすなわち利幅の縮小を選択した小売企業が多い」とアリコント・ビジョン社アジア太平洋地域営業担当取締役ベッキィ・ツォウ氏は言う。

セキュリティが最重要課題か？

どの小売企業でも、セキュリティにより収益面に影響が出ることは望まない。ネットワークの主な用途は売上の記録であり、ダウンタイムは絶対に許されない。IP映像などで通信網の負荷を増やそうとすると、帯域幅への影響を心配するIT部門から即座に却下されることになる。セキュリティ機器はメリットのある投資ではなく、単なる出費と捉えられているからだ。

セキュリティのビジネス上の問題点に関する説明は、小売企業の優先事項に密着したものでなければならない。「当社の場合、小売業の顧客に対して経営上の必要性への対応を第一に考えて提案を行っている」とリム氏は言う。「セキュリティ・システムが店舗経営の不可欠な一部分になり、業務効率の改善に貢献することが目的であるため、統合の重要性が高まっている。大規模な小売企業の場合、業務の非効率性という点で余分な費用負担を強いられる、断片的なソリューションを採用するわけにはいかないと実感し始めている」。

小売業ではネットワークが収益に結び



ついている。「ネットワークとは、各店舗と本社を接続することであり、企業はその機能を危険にさらすことは絶対にしようとしなさい」とシェファード氏は言う。「セキュリティにより通信網がダウンするようなことがあれば、カメラよりも遙かに重要な売上データを記録することができなくなるからだ」。

基幹の業務用通信網はPOSと業務情報に専用化されており、その優先度はセキュリティよりも高い。「業務用通信網を使用した映像伝送の要求はめったにな

い。通常、警報システムには個別のPSTN回線を使用し、可能であればバックアップ転送のため、IPまたは無線を使用している」。

専用通信網を必要とする小売アプリケーションでは、IP映像は疑問視されることが多い。「ほとんどのケースで、同じITネットワーク上に併存し、スイッチやルータなどの設置機器の全部または一部を共有するセミ・パラレル・ネットワークが解決策になる」とアケッソン氏は言う。



アクシスコミュニケーションズ社
小売事業開発担当取締役
ヨハン・アケッソン氏



ボッシュ・セキュリティシステムズ社
事業開発担当
クラウス・リーランド氏



TeleEye社CMO
ワラス・マァ氏

EverFocus HDcctv : ネットワークを使用しないもうひとつのハイビジョン防犯ソリューション

施工・操作方法は今までどおり、カメラ・レコーダの入れ替えでハイビジョン化

ネットワークカメラはよく分からないとお考えですか？ EverFocus(エヴァーフォーカス)のHDcctvはネットワークの知識不要でハイビジョン化できます。

すぐにできるハイビジョン化

ネットワークカメラシステムは、防犯・監視映像システムの映像をハイビジョン(HD)化できる新しいシステムとして注目を集めています。その一方でネットワークに関する知識や、原因が複雑になりがちなトラブル対応が必要です。EverFocusでは、これらの知識や対応をせずにHD化を行えるソリューション：HDCCTVをご提供しております。録画装置(DVR)のParagon HD・アナログとハイビジョン映像を混在可能

な Endeavor HD+SD DVR、2メガピクセルカメラのEQH5200・EDH5240・EHH5200と幅広いラインナップがあります。

既存のカメラ用同軸ケーブルを廃棄することなく、そのまま使用できます。新しくLANケーブルやスイッチングハブを配線・設置したり、ネットワークポリシーを見直す必要はありません。ケーブルの配線工事・カメラシステムの停止時間を最小限に抑えての取り付け・運用が可能です。

カメラとレコーダをつなぐだけ

同軸ケーブルでリアルタイムのハイビジョン映像を既存の同軸ケーブルを使ってフルハイビジョン映像の伝送を行うことができます。*

新規カメラ設置時にはこれまでのアナログカメラと同じ施工方法で同軸ケーブルを敷設、既存カメラとの置き換えはカメラとDVRを入れ替えることで工事が完了します。ネットワークカメラのように新規LANケーブル配線や帯域幅調整、ライブ映像での遅延発生に悩む必要はありません。HDCCTVではHDSDI規格で映像信号を伝送、同軸ケーブルでフルハイビジョンかつ遅延の少ない映像モニタリング・録画が可能です。アナログカメラと比較して約6倍の解像度を持つ映像を伝送・録画可能です。カメラ解像度を720pにすることで、フルフレーム(30fps)でのモニタリング・録画・再生も可能です。

*同軸ケーブルの長さが100メートルを超える場合、オプションのリピータを



ケーブルの中間に設置する必要があります(100メートル毎・要ACアダプタ給電)。

HDcctvソリューション

• Paragon HD DVR : HDcctv専用フルハイビジョン対応レコーダ

Paragon HDは、HDCCTV専用レコーダとして初めて市場に投入された製品です。操作性・各種メニュー画面・アイコンの配置は弊社DVRのものを踏襲しています。録画時の映像圧縮はH.264方式を採用しています。ハイビジョン映像は高画質で録画、遠隔接続用映像(レコーダをLAN/WANに接続して、PC・スマートフォンからみる場合)は帯域を抑えたものを伝送可能です。

本機にはwebサーバ機能を搭載、モニタリング・再生・コピーをPCのブラウザのみで行うことができます。別途ソフトを導入する必要はありません。MACOS・スマートフォン・タブレット端末では、内蔵のブラウザでのモニタリングが可能です。スマートフォン(iOS・Andriod)では専用アプリを利用してのモニタリングが可能です。

PC・スマートフォンを問わず、遠隔操作に必要なライセンス/ソフトウェア料金・サーバ機設置は不要です。

Full HD (1920×1080ピクセル)での録画・再生に加えてレコーダからの映像出力もFullHDに対応しています。HDMI またはVGA 端子を搭載したFullHDモニタに接続することで、よりスムーズでクリアなモニタリング・再生が可能です。

録画映像を見るための検索機能も、日時指定検索のほか、イベント検索(アラーム信号連動や動体検知などと連動

した映像再生)、特定範囲の動体検知履歴から再生するスマート検索機能を搭載しています。

• Endeavor HD+SD DVR : ハイブリッドHDCCTVコーダ

金庫室やレジ周辺等、一部をハイビジョン化、他の箇所はこれまでのカメラを使用する場合、アナログ+ハイビジョン対応のハイブリッドレコーダを使用することで、コスト削減を図ることができます。ハイビジョン化させたい箇所はHDCCTVカメラに交換し、既存の同軸ケーブルをそのまま利用することが可能です。HDCCTVカメラとアナログカメラを本機に接続することで、アナログとハイビジョンの同時モニタリング・録画が可能です。

Endeavor HD+SDレコーダでは、アナログ4局+ハイビジョン4局のEDR HD 4H4、アナログ14局+ハイビジョン2局のEDR HD 2H14の2種類のラインナップがあります。HDCCTVカメラ(ハイビジョン)では1080i/p (各局最大フレームレート: 15fps)、または720p (各局最大フレームレート: 30fps)の解像度で録画できます。アナログカメラではD1(各局最大フレームレート: 30fps)での録画が可能です。

操作性・メニュー画面・遠隔操作はParagonHDと同様、従来のアナログレコーダから踏襲されたものです。直感的に操作できるユーザインターフェイス・組み込みLinuxをベースにした堅固なシステム・市販のUSBメモリ/DVDメディアに録画映像がコピーできる手軽さ等、カメラがハイビジョンになったこと以外は従来のレコーダと変わりません。もちろん、スマートフォンでのモニタリングにも対応しています。

• EQH5200, EDH5240, EHH5200 : 2メガピクセルHDCCTVカメラ

ボックス型のEQH5200、赤外線照射機能搭載・屋内用ドーム型のEDH5240、屋外型ドーム型のEHH5200と、HDCCTVカメラのラインナップも豊富です。各カメラともにテストモニタ用映像端子を搭載、お手持ちのテストモニタ(NTSC)で画角調整・メニュー画面設定ができます。

各カメラともに1080i、720pの各解像度に対応(EDH5240・EHH5200は1080pにも対応)。デイナイトモード(赤外線除去フィルタ搭載)、12VDC/24VAC両電源対応、メニュー画面による各種設定変更など、アナログカメラと同様の操作性を持つHDCCTVカメラです。

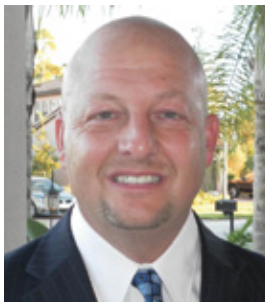
防犯カメラもハイビジョン

地上波・BSともにテレビ放送はハイビジョンになりました。防犯カメラはハイビジョンの1/6の情報量のままでいいのでしょうか。テレビ放送のハイビジョン化ではテレビは新しくなりましたが、放送波を受信して映像を見るシステムは変わっていません。HDCCTVも、映像はハイビジョン化されますが、同軸ケーブルで映像が伝送されるシステムは同じです。

ネットワークカメラを導入したいが、知識・経験がない。モニタリング・録画のために既存のネットワークに莫大なデータが流れて帯域を圧迫する。HDCCTVではこのような心配は無用です。今までの施工方法・知識を踏襲して防犯カメラをハイビジョン化できます。



Visit: www.everfocus.co.jp



プロテクション・ワン社
全国アカウント・マネージャ
ジム・シェファード氏



アテムコ・ファー・イースト社
営業兼マーケティング担当取締役
パトリック・リム氏

とは言え、先行投資の問題があるため、IPソリューションの導入は依然として伸び悩んでいる。「不審者を捕まえる目的でネットワークカメラを導入するのは、他のビジネス情報を備えていたり、他部門もサポートできる場合を除けば、必ず利点があるというわけではない」とシェファード氏は言う。「私の考えからすると、もしIPシステムを販売し、従来の警備システムの3倍の金額を請求したとして、損害金額に変化が見られなければ、顧客から文句を言われても仕方がない。映像の優位性だけではメリットにならない」。

警備部門とIT部門はそれぞれ特有の関心事があり、小売ソリューションが成功



するかどうかは、両者の情報交換により決まる。「IT部門では、データの処理方法、バーチャル・ネットワーク、社内の各部門へのデータの分割といった問題に対処している」とメロス氏は言う。「一方、保安・警備部門は結果が全てだ。損害が減るかどうか、データや映像をすばやく入手できるかどうか重視される」。

小売業に義務づけられる要件

セキュリティは通信網や既設機器に影響を及ぼすことから、必須要件からセキュリティに対する反感が起こる可能性がある。そうになると、セキュリティはビジネスへの厄介な負担となる。小売業にはギャンブル業界ほど厳しい規制は設けられていないが、各店舗は消防規則を始めとする地方自治体の法規を遵守しなければならぬ。「ほとんどの国で、高額商品を取り扱う小売店に限り、保険会社が映像監視システムと警備監視装置の設置が義務づけている」とリム氏は言う。

中国では今年、中大規模小売店およびショッピングセンターに関する法案が可決され、食品貯蔵庫や倉庫、出入口などでの映像監視が義務づけられたとHikvision社ツォウ氏は言う。食品の安全性に関して言えば、食品取扱業者は、商品に接触した全ての人物について識別可能な画像を録画する必要がある。このような規定はセキュリティ業界に好機をもたらすが、少ない予算をやり繰りする小売企業にとっては負担以外の何物でもない。

小売企業のセキュリティ情報の取り扱いが、地方自治体により規制されている

場合がある。「一部の小売店では、録画した映像の保存が認められていない場合がある。人数計数など、情報化映像で収集したデータしか使用できない場合もあるが、それについての要件はそれほど厳密ではない」とアケッソン氏は言う。

機密データの取り扱い

小売企業でもデータ管理には、米国の決済情報の処理について定めたPayment Card Industry Data Security Standard (PCI-DSS) などの要件が適用される場合がある。「QSR (ファーストフード) 業界の場合、セキュリティに関連して法律に定められた主な要件はPCI-DSSへの準拠である」とバイ・ザ・ロッキーズ社警備責任者マイク・デビス氏は語る。同社は、タコベル、ピザハット、ダンキンドーナツなどと同規模で、カールズJr&ハーディーズ・ブランドの2番目に大きなフランチャイズチェーン店だ。

映像については、PCI標準に直接含まれていないが、バイ・ザ・ロッキーズ社では標準に準拠したソリューションを選択している。「今後、一部の保険会社は、転倒事故や性的ハラスメントなど根拠のない保険金請求を避けるため、ファーストフード業界に対して、映像監視システム設置を保険加入条件にすることが考えられる」とデビス氏は言う。「映像の証拠があれば、不当な申し立てを退け、裁判における損失を避けることができる。例えば、床が滑りやすくなっているのに注意書きがなかったため転倒したとして顧客が店を訴えた場合、映像で該当箇所にはっきりと注意書きが映っていれば、裁判所の下す裁定が、映像がない場合よりも緩やかなものになる可能性がある」。

決済情報の管理には、コンピュータのロックなどの物理的な保護対策と、パスワードなどの論理的な対策の両方が必要だ。「私がある小売企業の事務センターを訪問した時、そこでは顧客情報を記載した書類が床のあちこちに積み上げられ、スタッフが事務室を自由に出入りしていた」とリム氏は話す。「責任感の強い小売企業なら、企業向けの物理的かつ論理的な入退管理ソリューションを組み合わせ利用し、簡単にセキュリティを強化することができる」。

IT部門では、データ管理の慣例が高い水準まで定着している。「一元化されたデータ管理アプローチを採用している小売企業が多い」とアヴェリィ・デニソン社情報ソリューション担当副社長トム・コイル氏は言う。「バックエンドでファイアウォールを構築し、店舗での露出を避けることができる」。

RFIDの使用については、タグが一斉に識別できることから、プライバシーへの懸念が問題提起されたことがある。GS1 や Voluntary Interindustry Commerce Solutions (VICS) などの業界団体が、小売店向けのプライバシーガイドラインを策定している。「顧客が希望すれば衣料品からRFIDタグを取り外すことのできるという選択的なソリューションを指向する小売企業が多い」とコイル氏は言う。

セキュリティへの投資

セキュリティに対する風当たりは厳しい。では、わざわざセキュリティ対策を導入する理由は何か。セキュリティが一時的な高額の出費ではなく、一種の投資であることがわかれば、小売企業は態度を軟化させる。セキュリティがもたらす明らかな利点の1つは、経費削減だ。「長

期的に考えれば、守衛などの人件費の削減により、ROIを具体的に示すことができる」とソニー・エレクトロニクス社アジア太平洋地域プロフェッショナル・ソリューション部門セキュリティ・ソリューション担当マネージャのアレックス・イダ氏は語る。

セキュリティ対応の業務システムも、経営効率の改善につながる可能性がある。「POS技術への関心が高まっているが、その理由は、レジ周辺の損失金額が店の内外における盗難による損失を上回ることが多いからだ」とシェファード氏は言う。「必ずしも故意によるものではなく、バーコードのスキャンミスだったり、複数個の商品を1個分しか記録しなかったりするような単純なミスだ。気がつかなければ、1ケース分のミネラルウォーターを99セントで売ってしまうことになりかねない。システムに正しく記録されなければ、その分だけ損失になる」。

セキュリティ・ソリューションにより回避できる不注意からの損失は、その他にもある。冷凍室のドアが開放になっている場合や、開放の天窓からの雨の吹き込みによる損害もセンサーで検知できると



Hikvisionデジタル・テクノロジー社
市場アカウント・マネージャ
ジュン・ツォウ氏

リーランド氏は言う。

RFIDタグを使用する識別ソリューションは、小売企業内の様々な関係者に利益をもたらす可能性がある。「在庫管理や警備そして販売促進の各チームが、ソリューションを全体的な観点から検討する傾向が最近とみに見られるようになった」とコイル氏は話す。

セキュリティの営業は、単に製品を右から左へ動かすことではなく、顧客要求に対応することだ。優れたプロセスと効果的な訓練と組み合わせることで、セキュリティは、チームの一員として真価を発揮することができる。次の記事では、様々な小売環境でのセキュリティの導入について検証する。



買物客の要求に対応したソリューション

小売ソリューションの設計は、業態により千差万別である。ここでは、アパレルショップ、家電量販店、ファーストフード店、コンビニエンス・ストアで、様々なセキュリティシステムがどのように導入されているかを紹介する。最後に、小売業の将来は、ネットワーク型ソリューション特にクラウドにかかっていることを検証する。

ショッピング行動が変わってきた。店舗がショールームの役割を果たすようになり、消費者は店頭で見かけた最新流行の商品を最安値で手に入れるため、インターネットを検索するようになった。米国大型書店チェーンのボーダーズの倒産が物語るように、小売企業はウェブに精通した買物客の要求に対応する必要に迫られている。小売ビジネスは買物客を呼び込むことが大前提だ。セキュリティが販売に支障をきたすわけにはいかない。「業務効率の向上という点で差別化を図る必要がある」とアデムコ・ファー・イースト社営業兼マーケティング担当取締役パトリック・リム氏は語る。投資収益率(ROI)の計測方法として、システムを導

入する前後の盗難損害額が比較されることが多い。ただし、スーパーマーケットと宝石店では来店客数や商品の平均単価が大きく異なるように、これは非常に主観的な数字だ。

ユーザのニーズに合ったソリューションが求められている。小売企業がソリューションの低コスト性だけにこだわっていると、確かな成果を上げることができないとHikvisionデジタル・テクノロジー社市場アカウント・マネージャのジュン・ツォウ氏は言う。業務システムと連繋する統合型のセキュリティは、より大きなメリットをもたらす。「ハイエンドのソリューションは、全てのセキュリティシステムが相互に補完し合い、1

つのソリューションの構成機器が他のソリューションでも必要であるという統合の概念で成り立っている」とボッシュ・セキュリティ・システムズ社事業開発担当クラウド・リーンランド氏は語る。「この方法により、導入費用、ネットワーク費用、要素間の摩擦によるロスが大幅に削減される」。小売企業には様々な形態があり、それぞれ固有の要求がある。高級アパレルや高額の電子機器の場合、資産管理が必要になる。対照的に、ファーストフード(QSR)などの軽飲食店では効率性を重視する。

統合を妨げるもの

これまで既設機器に多額の投資をして

きた小売企業は、セキュリティに対して消極的な姿勢を示す傾向がある。「どの店舗も新規出店したばかりで、既存のセキュリティ製品が全くなければ事情は違ってくる」とプロテクション・ワン社全国アカウントマネジャのジム・シェファード氏は言う。「ところが、現実にはほとんどの小売企業に既設製品がある。これらの製品に息を吹き込み、維持していかなければならない。小売企業では、既設機器を継続的にサポートしながら、合理性が認められれば部分的にIPに移行する混合型の投資を行っている」。

機器供給企業は既存のソリューションからの移行の道筋を用意する必要がある。「小売企業の立場からすれば、全ての製品を一度にアップグレードし、古くなったものを一掃する必要がないという意味だ」とインタロジックス社UTC火災&セキュリティ部門映像・通信担当営業責任者コスタス・メロス氏は語る。「DVRの耐用期限は遅かれ早かれやってくる。いつか突然故障して慌てふためくよりも、今から移行を計画しておいた方がいい」。

小売企業にはそれぞれ固有の関心事があり、使用している機器も異なるため、統合は一筋縄では行かない。「おそらく最も神経を使う部分は、既存システムとの接続だろう」とアヴェ依リィ・デニソン社情報ソリューション担当副社長トム・コイル氏は語る。「ありがたいことに、やっといくつかの規格が登場し、システム間の接続を強化するブローカ・システムが使えるようになった。このようなインタフェース開発は簡単ではないが、10年前のことを思えば隔世の感がある」。

連絡が必要な新旧システムには、POSや入退管理、警報監視や冷暖房空

調設備などがある。「顧客に付加価値を提供できなければ、どれだけ豊富な機能を備えた技術でも無意味だ」とエンヴィジョン社の社長兼CEOマット・シュタインフォート氏は語る。

しかし、統合は言うは易し行うは難しだ。「責任のなすりつけ合いになるので統合は難しい」とシェファード氏は言う。

技術への理解

新しいソリューションは昔ながらの問題の解決を約束するが、供給側は製品を誇大宣伝する傾向がある。技術は、それぞれ固有の用途にうまく適合するが、システム単独でできることは限られている。

フロスト&サリバン社の報告書「アパレル産業におけるRFID」では、業務効率の改善をもたらすRFIDの普及率が高まっていることが指摘されている。導入が成功するかどうかは、書き込み速度や読み取り速度などのパフォーマンスによって決まる。報告書には「書き込み速度が向上するにつれ、より多くのデータをRFIDチップに保存したいという要求が出てくると予測される」とある。

万引防止システム(EAS)で使用しているRFIDは、残念ながら簡単に無効化される可能性があるという。それ

のため、二次的照合が必要で、通常映像を使用して行われる。コイル氏は「EASタグが提供する機能は、ゲートで警報を鳴らすだけで、実質的に限られたものだ。ところが、こうしたEAS技術は、個々の商品の正確な識別情報を提供するわけではなく、万引された具体的な品目を店舗側で識別することはできない」と付け加える。

限られた情報

情報化映像解析は、特に人数計数に関して汚名を着せられた。「同じカメラで映像録画や解析ができる」と誤解している人が多い」とTeleEye社CMOワラス・マア氏は言う。「顧客が技術的制約をよく理解していない場合もある」。

カメラの角度や補正だけでなく、顧客企業の満足水準によっても結果が違ってくる。正確に計測するため、他のセンサーを使用して解析用の照合を行うこともできるとマア氏は言う。

アパレル産業

音楽ならオンラインで試聴できる。しかし、バーチャルで靴を試し履きするわけにはいかない。アパレル品のタグは、在庫管理のための貴重な情報を提供すると同時に、商品を守る役割も果たす。フ



インタロジックス社UTC火災&セキュリティ部門映像・通信担当営業責任者コスタス・メロス氏



アヴェ依リィ・デニソン社情報ソリューション担当副社長トム・コイル氏



ソニー・エレクトロニクス社アジア太平洋地域プロフェッショナル・ソリューション部門セキュリティ・ソリューション担当マネジャアレックス・イイダ氏



ロスト&サリバン社は、報告書で「RFIDの採用は、アパレル業界の様々な業務工程に著しい影響を及ぼすと予測される」としている。

RFIDがもたらすメリットは、相乗効果によって、一層の効率性を実現する。「セキュリティに注目すれば、導入済みのRFIDを利用してセキュリティを強化することができ、そのメリットは店内だけでなくチェーン全体に広がる」とコイル氏は言う。「RFIDという1つの機能を導入するだけで、正確な在庫管理、損失防止、顧客の満足度の向上、マーケティングの改善など、多くのメリットが得られる」。

アパレルショップは客を呼び込むように設計されているため、セキュリティ機器が目立ってはならない。「カメラなどの製品は小型化が求められている。消費電力を抑えるだけでなく、店の内装に調和しやすくするための」とソニー・エレクトロニクス社アジア太平洋地域プロフェッショナル・ソリューション部門セキュリティ・ソリューション担当マネージャのアレックス・イイダ氏は語る。「産業用のような外見のカメラは、審美的な観点から適していない」。

カメラの小型化の一方で、HD画質のブームが起こりつつある。フィリピンの

ショッピングモールでは、SDアナログカメラの代わりにHDカメラを導入し、識別能力を向上させた。「以前よりも映像が鮮明になり、管理やセキュリティ目的で利用できる情報量が増えている」とマア氏は言う。

識別能力を高めるには、高解像度とフレームレートが重要だ。「対象物を忠実に映し出せる強力なカメラ・レンズが多数出回っているが、少なくとも60 fpsのフレームレートがないと、万引犯が商品をバッグに入れた瞬間を捉えるのは難しい」とVivotek社ブランドビジネス担当取締役ウィリアム・クウ氏は語る。「決定的な場面の録画映像がなければ、店側が犯罪者を起訴するのももちろん、法廷で犯行を証明するのに苦労することになる」。

HDやメガピクセルのセールスポイントとして、複数台のSDカメラを1台のカメラで置き換えられるというメリットがよく挙げられる。正確な台数は状況により違ってくるとはいえ、高解像度カメラであれば、レジカウンタや倉庫など、店内の広い範囲をとらえることができる。「メガピクセル・カメラは長い目でみると従来のカメラよりも高度なROIを実現し、短期間で投資を回収できるケースも多い」とアリコント・ビジョン社ア

ジア太平洋地域営業担当取締役ベッキ・ツォウ氏は語る。「また、小売店のオーナーが遠隔から店内を見回して、顧客への対応がすばやく行われているか、従業員が嘘をついていないかチェックできるという経営面のメリットもある」。

ただし、帯域幅に制約があれば、メガピクセル映像の伝送が制限される。「10メガピクセルのカメラ1台で他のカメラ5台分の働きができるとしても、それにより帯域幅の大半が消費されることになるため、現実として遠隔利用するわけにいかないのだが、この点について供給側は口を閉ざしがちだ」とシェファード氏は言う。「小売店は、ネットワークに投資する余裕がない。DSL回線を利用している店もあり、それでは、メガピクセル・カメラの導入は無理だ」。

映像は驚くほど大量データを生成し、メガピクセルの場合、データ容量は3～4倍になる。「カメラ台数30～40の大型店舗の場合、映像を絶え間なく本社に送信するのは合理的ではない」とメロス氏は言う。「当社では、映像は、通常は店内のTクローゼットに保管しておき、必要なデータだけ伝送し検索するようアドバイスしている」。

緊急警報や火災警報、業務データなどは、映像よりも優先すべき伝送データだ。「POSデータはリアルタイムで伝送される場合もあれば、1日1回、夜間に伝送される場合もある」とメロス氏は言う。

エレクトロニクス

家電量販店の目玉商品は、最新の機器である。アパレルと同様に、消費者は商品を手にとって見るができるが、展示スペースから持ち出すことはできない。「数々の消費者調査から実証されているように、オープンな展示方式と、い

つでも商品を購入できる豊富な在庫は、小売店の売上拡大にプラスの影響を与える」とチェックポイント・システムズ社グローバルマーケティング担当副社長ステーブ・セル氏は語る。「当社では消費財企業や小売企業と密接に協力し、可能な限り展示スペースを広く取るソリューションを開発している」。

家電品の小売では、買物客が展示品に触られるようにする必要がある。「今の時代、消費者の満足度を何よりも重視すべきだ」とセル氏は言う。「小売店で、盗難に遭いやすい高価な商品が施錠されたケースにハマっていたら、どういう結果になるか想像してみるといい。もちろん、損失金額はゼロになるが、売上も激減するだろう」。

家電量販店チェーンのターゲット社とベスト・バイ社における調査では、両者のセキュリティへの取り組み方の違いが浮き彫りになった。どちらも人気の高いアップル社製品を取り扱っているが、ターゲット社は施錠した状態で展示し、ベスト・バイ社はそうはしていなかった。「iPhoneとiPadの売上は、ベスト・バイ社の方に軍配が上がっている。消費者は、店員が展示ケースの鍵を外してくれるのを待ちたくはないからだ」とシェファード氏は言う。「重要なのは顧客要求を理解し、セールスに影響を及ぼすことなく損失金額を減らす方法を考えることだ」。

ほとんどの大規模チェーンでは、店舗ごとに管理プランを立案している。「映像監視や侵入検知、入退管理など、何らかの方法で店舗の防犯対策が講じられていれば、警備担当者が損失金額の観点から店の状態を正しく知ることができる」とメロス氏は言う。「店内の監視から得られた大量のデータから、どんな状況で損失が発生しているかを把握し、適切な

行動を起こすことが可能になる」。

全国展開の小売企業は、単なる犯罪統計としてではなく、金額の観点からデータを見ている。「そのような企業では、犯罪者を捕まえるために、多くの時間を使っていない」とシェファード氏は言う。「小売業界は事後対応的な対策から事前対応的な対策へと転換しつつある」。

QSR (ファーストフード)

ファーストフード業界の場合、品目ごとのタグ付けは不要である。というのは、お得なセットの利幅はブランド品のバッグとは比べものにならないからだ。その代わりに、軽飲食店で重要とされる指標は効率性である。「バイ・ザ・ロックーズ社では、一部の店舗で映像監視の試験運用を行った。収益性の向上のため、この機会を利用して全店舗で映像とPOSシステムを統合する方針を決定した」と同社警備マネージャのマイク・デビス氏は語る。「様々な映像監視製品とサービスを入念に検討し、候補を2つに絞り込んだ。そして現在、テストした2つの選択肢の1つであるエンヴィジョン社ホスト型映像ソリューションを導入している」。

現場で試験運用を行えば、セキュリティによりビジネスをどのように強化できるのかがより明確に理解できる。「当



社は、小売企業の財務部門と協力して、損失金額の低減、販売工程の改善、販売商品のコスト削減など、企業にとり重要な統計データを確実に理解するよう努めている」とシュタインフォート氏は言う。「その後、統計データを追跡し、エンヴィジョン社製品導入以前の店舗ごとの実績や、業績に影響する景気変動、季節変動などの要因を除外するための対照群の実績と比較している」。

このような比較方法により、セキュリティがもたらすメリットが、疑いのようなデータとして小売企業に示される。シュタインフォート氏によると、顧客企業の試験運用ではROIが平均844%に達している。また、一部の小売企業では最高2,500%のROIが達成されているという。ファーストフード・チェーンには多数の店舗があるため、セキュリティ報告



エンヴィジョン社
社長兼CEO
マット・シュタインフォート氏



Vivotek社
ブランドビジネス担当取締役
ウィリアム・クウ氏



チェックポイント・システムズ社
グローバルマーケティング担当
副社長 スティーブ・セル氏



書では、関連する各店舗のデータを集めることが可能である。「当社の場合の主な要件は、POSデータを映像に統合するための、堅牢でカスタマイズが可能なレポート機能だった」とデビス氏は言う。「さらに、使いやすく1つに統合したシステムで、映像とPOSデータの両方を表示できることも要件だった。店舗は100カ所以上あるため、各店のDVRにログインして映像を見た後、さらに別のシステムにログインしてPOS情報を見るという時間はない」。

映像とPOSの効率的な統合は、従業員による盗難や不注意を検知して防止する上で有効である。「ただし、こうしたソリューションが実際に正しく機能するには、レジやその他の技術との通信用に、非常に複雑な接続が必要になる」とクウ氏は言う。「複数の場所で事業を展開するチェーンの場合、やはり支店ごとに1つずつシステムが必要だ」。

バイ・ザ・ロックーズ社では、映像とPOSを統合した結果、言いがかりや返金、値引きや不払いなどの不正取引を発見し、削減することに成功している。「結果として、1店舗当たり月額数千ドルの効果が挙がっている」とデビス氏は言う。「一部店舗では録音も行っている。人事部への性的ハラスメントの申し立て

や、顧客からの苦情を調査する際に大いに役立っている」。

コンビニエンスストア

セブンイレブンなどの大規模チェーンでも、ハイリスクな店舗への警報監視装置の導入などのセキュリティ対策を進めていこう。「英国と南アフリカの多くの顧客企業が、小売店のセキュリティ対策として、映像監視と警報装置そして非常ボタンを採用している」とマア氏は言う。「強盗事件が発生した場合、店員がボタンを押すとDVRにトリガし、映像応答センタまたは監視センタに信号が送られる。映像応答センタの操作者は警報を受信し、現場状況をリアルタイムで見ることができる」。

現実に即したソリューション

技術は確かに驚くべき効果をもたらす可能性があるが、小売企業が現実とかけ離れた期待を抱いている場合もある。「予算に糸目をつけなければ何でも可能だ」とメロス氏は言う。「しかし、いわゆる最先端のソリューションが適さないケースもある。小売店はかなり少ない利幅で運営されているので、コスト削減は非常に重要だ」。

現実の世界では、ソリューションが期待通りの効果を上げない場合もある。「私が遭遇した最も馬鹿馬鹿しい状況といえば、万引の摘発率を高めようと、EASに映像監視機能を統合したときのことだ」とリム氏が話す。「簡単そうに思えたが、熟練した万引犯になるとEASシステムなど易々と無効化してしまうので、そもそも警報が鳴らない。馬鹿馬鹿しいといえば、誤認による警報もそうだ。商品のタグを外さずに売る小売店が多いので、1年前に買ったシャツを着た買い

物客がEASシステムに引っかかることもある」。

メガピクセル画像については、付随する帯域幅やストレージの問題を顧客が理解していない場合がある。「多数のメガピクセルカメラから、大容量のデータを伝送したいという要望が一番多い。つまり本社への映像伝送だ」とメロス氏は言う。「できないことはない。ただし、ほとんどの小売企業は、そのために必要な基盤を構築したり購入する考えはない」。

情報化映像を正しく理解してもらうには、継続的な教育も必要だ。「陳列棚の前の滞留時間、行列の長さといった買物をする顧客行動の解析を利用したいという要望も多い」とメロス氏は言う。「これもできないことはない。ただし、それ以前に様々な条件が満たされていることが前提だ」。

今後の展開

次に来る波はネットワークだ。RFIDによる可視性の強化からホスト型映像まで、IPIは小売店経営に高い効率性をもたらす。「モノのインターネットという言葉が何年も前から流行していた」とコイル氏は言う。「RFIDが出現した頃には、RFIDタグの収集や読み取りの信頼性が問題だった。最近では、読み取ったデータから得られる新たな可視性を、どのように活用するかが大きな問題になっている」。

データを活用する1つの方法が、より賢明な検索機能で、これは経営上のメリットになる。「ある種の反復動作を検出できるようになったらすごい」とデビス氏は言う。「例えば、従業員はレジで精算を終えるたびに抽斗を閉める必要がある。この動作が見られない場合、従業員がわざと引き出しを開けっ放しにし

て、現金取引をPOSに登録しないようにしたか、顧客に料理を出すのに気を取られて閉め忘れたと考えられる。規則違反にしても盗難にしても、是正すべき問題であることに変わりはない。

映像解析の精度が上がり、撮影画像の利用が活発化している。顔認識や挙動分析、人数計数などの機能が改良されれば、小売企業にとってメリットは大きいと、Hikvision社ツォウ氏は話す。

例えば、ID情報付きの顔データを統合すると、常習犯の摘発も可能になる。「ショッピングモールに犯罪記録データベースがあると仮定すれば、リアルタイムの生体認証照合システムを使用して、犯罪歴のある者が来店するとカメラがそれを検知し、保安要員に信号を送ると

いったことが考えられる」とクウ氏は言う。

クラウドサービス

プロバイダ側でストレージを管理するホスト型サービスは、小売企業にとってメリットが非常に大きい。必要な帯域幅の増大に伴い、ホスト型映像の可能性が高まると予測される。「基盤の帯域負荷を軽減するクラウドベースのホスティングサービスが今後増えていく」とアケッソン氏は言う。「遠隔操作を利用すれば、店長はどこにいても、携帯電話などの機器を利用して、どの店舗の映像でもリアルタイムで見ることができる。アナログの時代と比べれば大変な進歩だ」。

オンデマンドの情報を希望する小売企

業にとり、ホスト型ソリューションは将来性のある投資だ。「ユーザはアプリケーションにログインするだけで、新しい機能を即時に利用することができる」とシュタインフォート氏は言う。「1年に1モデルという開発サイクルに伴う技術の陳腐化に悩まされることがなくなり、ITチームはソフトウェアの更新や機器のアップグレードという負担から解放される」。

小売店のセキュリティで来客の安全を守ることは、より快適なショッピング体験にもつながる。セキュリティはビジネスの性格に応じて経営を効率化し、説得力あるROIを実現する可能性がある。



ISO:9001 CE FC

PR-620 磁石式シャッター・センサ

- ・簡単設置。最大検知範囲:80mm
- ・磁石式調整を採用し、電源供給が不要
- ・簡単に妨害されない、高信頼性と安定性能のセンサ

非常用ボタン

BT-860-2LMF

緊張ワイヤ・フェンス・センサ

PS-780 PS-10

Taiwan Security Net Co., Ltd.

No.4-46, Feng Jen Rd, Kao Tarn, Jen Wu, Kaohsiung, 814, Taiwan, R.O.C.
Tel : +886-7-3721111 Fax : +886-7-3721114
http : //www.sengate.com E-mail : service@sengate.com

文書改竄検出システム

〈PDF文書の手書き署名と改竄検出〉

ウィッツェル株式会社 茶位利昭

1.はじめに

手書き署名照合システム「サイバーサイン」を利用したPDF文書の改竄検出ソフトウェアを紹介する。電子化された文書の改竄検出は、ペーパーレス化が進むほど重要になる。さらに同様に重要になるのが、印鑑の代わりに手書き署名である。当ソフトウェアは比較的簡単な操作で、文書への手書き署名の貼り付けと、手書き署名後の文書の改竄検出を行う事ができる。

を混同することを回避するため、冒頭で言葉の定義をしておく、本稿で「電子署名」と記されたものは、電子署名法の公開鍵暗号方式に基づくデジタル署名のことを指すものとし、署名照合システムでの署名は、「手書き署名」または単に「署名」と記すこととする。

2.PDF文書への手書き署名の仕組み

当ソフトウェアは、PDF文書に手書き署名を行うと、その後に文書が変更されたか否かを確認できるものである。そ

の仕組みは図1に示すように、手書き署名時に文書のハッシュ値を計算し、その署名のイメージとハッシュ値を文書に埋め込む事により実現する。この時、手書き署名は署名照合サーバにより認証されるので、署名者が明確になるという特徴がある。またハッシュ値というのは、メッセージ・ダイジェストとも呼ばれ、文書データから計算される短い数値列である。この値は異なる文書間で同じ値になることはほとんどないので、後日その文書のハッシュ値を再計算し、それが同じであれば文書に変更がなかったことが確認できるわけだ(分かりやすいように、文書にハッシュ値を埋め込むと記したが、実際は電子署名のことである)。

3.手書き署名の手順

PDFで作成された承認が必要な文書(承認文書)に手書き署名を行う手順を説明する。予め必要なソフトウェアはセットアップされているものとし、文書の準備は、署名が必要な契約書などのPDF文書の作成と、その文書内の署名が必要な場所に署名フィールドを設けておくことである(これらはPDF文書の編集方法に従う)。

この承認文書はメールやワークフロー・システム等で承認者に送付されるものとし、手順は承認者が承認文書を開き、内容を承認し、手書きで承認の署名を行うところから記す。

①署名フィールドの選択

予め設定された、承認者のための署名欄(署名フィールド)を選択する。

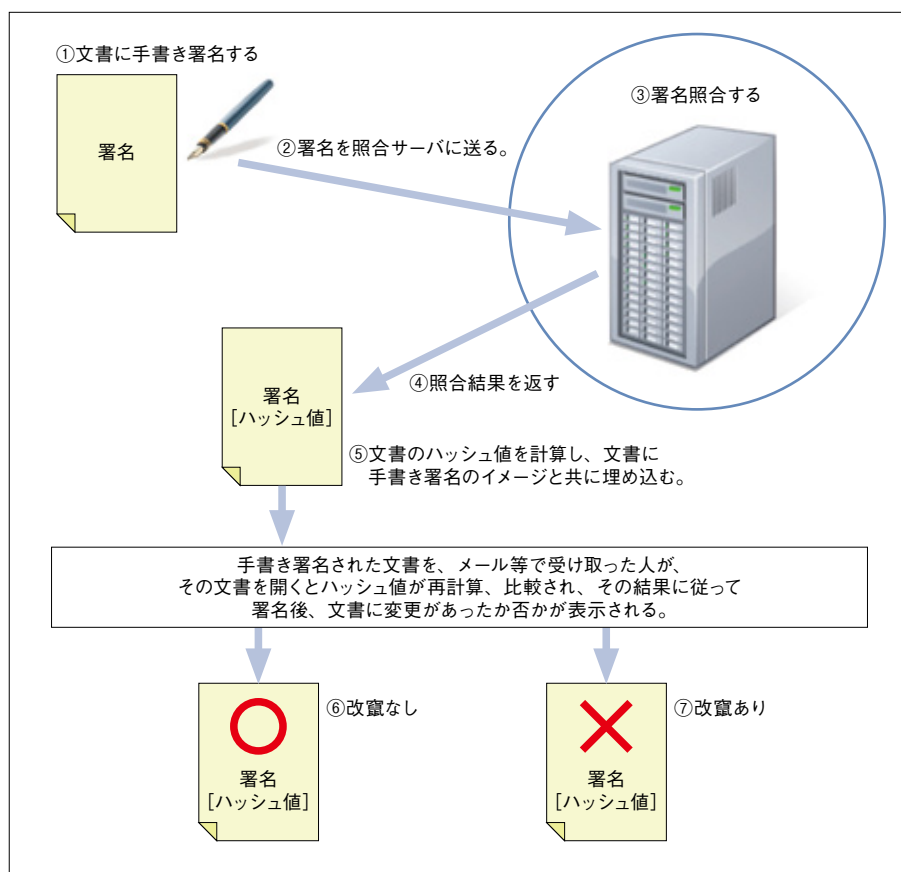


図1 処理の流れ

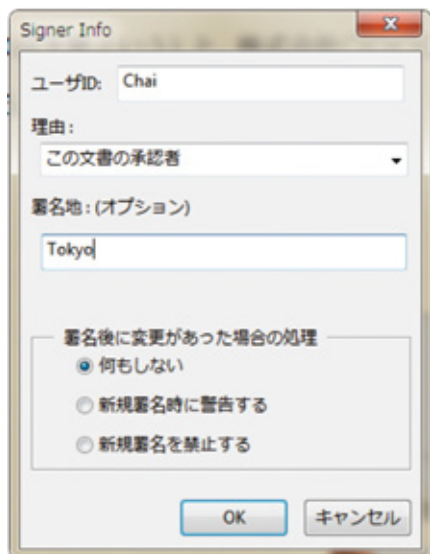


図2 属性設定ダイアログ

②属性入力

署名の属性入力ダイアログが表示されるので、適宜項目を入力し、OKを押す。(図2)

③手書き署名入力

署名入力画面が表示されるので、タブレット等で署名する。(図3)

④本人認証

手書き署名認証サーバに入力署名データが送られ、照合される。照合が成功し、本人と確認された場合には次のステップに進む。

⑤署名イメージの表示

入力した属性と手書き署名の日時の上に、入力した署名イメージが表示される。(図4)

⑥書類保存

文書を保存し、必要に応じて返送、閲覧する。

4. 書名の検証

前項で手書き署名を行った文書を受け取った人が、文書の改竄を確認する方法を記す。前項と同じく必要なソフトウェアは全てセットアップされているものと



図3 署名入力画面

する。

①文書を開く

署名の自動検証オプションが設定されている場合は、自動的に署名の有効性が検証され、改竄の有無が表示される。(図4、図5参照のこと)

②手動での検証

確認したい署名をクリックすると、その署名の有効性が検証され、前項と同じく結果が表示される。

5. オプション設定

オプション設定には、属性の表示内容や色の設定の他に、署名済み文書を開いた時に署名の検証を自動的に行う設定や、署名後に文書の変更があった場合の挙動についても設定できる。(図6)

6. おわりに

電子署名は、パスワード認証との組み合わせが一般的なので、承認者が代理人に承認させたり、不正にパスワードを利用したり、本当に承認者が承認しているのかが不明確であった。しかし、生体による個人認証である手書き署名照合と電子署名の組み合わせで、確実に承認者が承認したことが分かるのと同時に、その署名後に文書の変更がないことも確認することができる。個人認証としての生体に



図4 署名表示(署名後改竄されていない場合)



図5 署名表示(署名後改竄された場合)

よる個人認証には幾つか種類があるが、署名照合ならば、照合に成功した場合、その署名そのものを文書に貼り付ける事ができるので、文書の改竄検出システムとの相性は非常に優れていると判断することができる。

応用例としては、保存文書への署名はもちろん、ワークフロー・システムへの応用、関連会社や取引先会社との文書交換への利用などが考えられる。 **AKS**

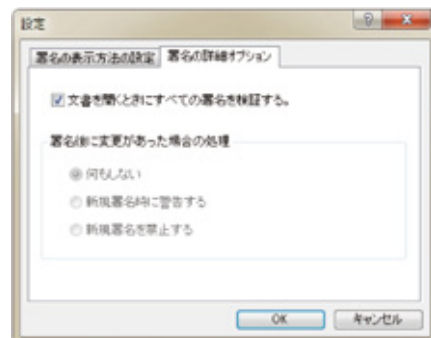
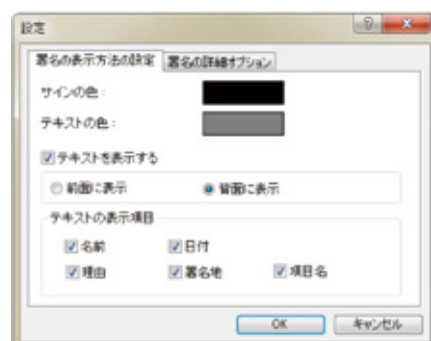


図6 オプション設定画面

指静脈認証システム導入事例(5) 他社入退管理システムとの連繋

【既設システムへの追加】

既に入退管理システムを導入している場合、そのシステムの精度強化や認証手続きの簡便化を検討することが出てくるだろう。その場合、全く別系統で指静脈認証システムを導入すると、系統が複数になり管理負担が増えてしまう。その時に有用なのが、認証機能のみを搭載したシステム組込指静脈認証専用機を増設する方法である。

【高い費用対効果】

既存システムにより基本データは構築されているため、そこに高精度の指静脈認証システムを増設する場合、新規で設置するよりも全体費用を抑えることができる。また、登録機と認証機を分けて設置することもできるため、ハードウェア費用も柔軟に対応することができる。さらに、カード読取機能も追加設置したい場合はオプションで対応することもできる。これにより、認証方法は、「指静脈」、「カード」そして「カード+指静脈」の3モードをサポートすることができる。

ただし、「カード」と「カード+指静脈」はカード読取機をオプション対応した場合となる。

【導入手順】

指静脈認証システムを増設手順は下記の通りである。まず、既設システムに登録ソフトウェアと配信ソフトウェアをインストールする。

次に、増設する指静脈認証機と既設の入退管理機器をRS485またはWiegand(ウィーガンド)で通信する。これによりデータの入出力を行うことができる。ウィーガンドとは、各種認証装置とコントローラ間の通信プロトコルで、世界標準規格として、現在多くの機器で採用されている。

システム接続が済んだところで、別途用意した指静脈登録機で認証を必要とする人物の指静脈を登録する。これでシステム導入の手順は完了となる。実際の運用状況は管理PCで把握することができる。

【導入効果】

少ない初期投資で最大3万人分の指静


脈認証ができる。もちろん、既設入退管理システムへの増設という条件はあるものの、指静脈認証の高精度、簡便で短時間での認証手続きなどと得るものが大きい。しかも1台の登録機と必要な認証機を用意するだけで済む。また、最大200台まで接続が可能なおことから、当初は必要最低限を設置し、その後認証機を追加することができる。

【主要仕様】

指静脈認証機に関する主な仕様は下記の通りとなっている。


- 登録人数…認証機1台あたり550人(2指/人)
- 最大接続台数…200台
- カード読取機…ウィーガンド対応機器を標準サポート
- 外部出力…RS485またはウィーガンド出力(26/34/35ビット標準対応)
- 外部入力…LED×2、ブザー×1
- 電源…DC12V / 24Vを相手側より供給(オプションでACアダプタ対応)
- 寸法…高さ210mm×幅138mm×奥行84mm(埋め込み部として40mm)





指静脈認証リーダ SYL-1000

小規模から大規模システムまでフレキシブルに対応できます



安 価

高 速 認 証


すぐれた環境特性

- ・ 入退室管理システムの認証端末として最適です
- ・ 指静脈を組み込んだ入退室の機能をすべて備えています

第20回 セキュリティ・安全管理総合展
SECURITY SHOW 2012
3月6日(火)～9日(金) 東京ビッグサイト

に出展します。
ブースNo.東3ホール
SS3111

株式会社 フィットデザインシステム
Tel.04(2951)5166 <http://www.fit-design.com>



よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャパテル 代表取締役 CEO 佐々木宏至

今回はパケットロスに関して話す。どのような環境であれ、100%パケットロスは不可能だ。TCPのように再送を許す環境ではなく、リアルタイム性が重要視されるセキュリティー監視カメラではTCPは使用しない。必然的にパケットロスのリスクは高まる。

経験的に1カメラ当たり10パケット/1分以下の状態であれば、ほとんどの場合は問題にならない。しかし、100パケット/1分を超えるようなロストの場合、想定外の問題が発生する。この様な状態ではどのような解決方法があるだろうか。

●サーバとスイッチ間のパケットロス

サーバとスイッチ間のリンクが、ギガビットでリンクアップしているか確認する。そして、サーバのNIC設定がフロー・コントロール有効化を確認する。無効であれば有効にする。次にスイッチのフロー・コントロールを有効にする。


そして、ケーブルを抜き差しして再度リンクアップするとフロー・コントロールが有効になっている。これで症状は変わっただろうか？

- 1)パケットロスはほぼなく、映像も表示。
- 2)パケットロスはなくなったが、動画

画像がぎこちない。

3)パケットロスは悪くなったか、変らず。

ほとんどのケースは1)から3)に収まる。特に処理能力の低いスイッチでは、2)または3)の状況になると思われる。この場合はサーバと接続されているスイッチの処理能力を大幅に向上させないと解決しない。

このように監視カメラでのスイッチ選定は想像以上に難しい。特にHDTV、メガピクセルで高フレームレートを要求される。全てのスイッチはギガビット対応を選定することが重要だ。 



自在に選べる、 堅固な統合セキュリティシステム

実績豊富なオムニキャスト・ビデオ監視システムを搭載したSecurity Centerから始めましょう。入退室管理、侵入検知、資産監視、ビル管理などのビジネスシステムが次の展開となります。すべてのシステムと設備でモニター、アラーム管理、レポートを統合します。進化する統合のかたちをご覧ください。

See what you need at genetec.com/SecurityCenter
ビデオ監視システム | 入退室管理システム | ナンバープレート認識システム

Security Show 2012(3月6日-9日)に
(株)ジャパテルと共同出展します。

東京ビッグサイト:小間番号SS3422

革新的ソリューション

Genetec

secutech

International Security Expo

第15回電子セキュリティ、情報セキュリティ、消防&
防災の国際展示会&国際会議

2012年4月18日~20日

台湾台北市 南港展示会場

A. IPメガピクセル B. HD SDI C. 960H D. アナログCCTV

どれがお求めの最良のソリューションですか？

Secutech 2012にご来場になり、違いをご確認ください。

その場で購入交渉もできます。

- ・台湾と韓国そして中国のメーカーが出展し、最新HD映像ソリューションを展示しています。
- ・活発な質疑応答と、実働するHD監視の展示を体験下さい。
- ・各種カメラやDVR/NVR、レンズや映像監視ソフトウェア、HD用モニターや伝送装置など、多種の製品が会場に集結しています。

SECUTECHに関するお問い合わせは下記まで:

ASJ社 担当:小森堅司

電話:03-6206-0448 FAX:03-6206-0452

E-mail: komori@asj-corp.jp



**登録はwww.secutech.com
で今すぐどうぞ**



messe frankfurt

特別企画

第20回セキュリティ・安全管理総合展

SECURITY SHOW 2012直前情報

注目のセキュリティ機器

会 期：3月6日(火)～9日(金)10:00～17:00(最終日のみ16:30)

会 場：東京ビッグサイト東ホール

主 催：日本経済新聞社

入場料：当日一般=1,500円 当日団体<20名以上>=1,000円

www.securityshow.jp

Webサイトの事前登録で入場無料(3月5日まで)



Experience Advanced Plug & Play Technology Now

DynaGuard™ 900 Series Hybrid IP DVR

- ・組み込みLinuxシステム
- ・フルHD映像出力
- ・4 IP + 8 / 16アナログカメラ入力
- ・4 Ch PoEスイッチ搭載 (Gigabit / IEEE 802.3at / 100W)
- ・IPカメラ・プラグ&プレイサポート



DYNACOLOR
always watching

DYNACOLOR JAPAN(株)

電話番号 03-5524-6655
FAX 番号 03-5524-6656

<http://www.dynacolor.co.jp>
Email: info@dynacolor.co.jp

SECURITY SHOW 2012
SS3212

secutech 2012
K314 - K321

出展企業名	ブース	電話番号	URL	出展製品		
				映像関係		
				カメラ	レンズ	モニタ
R.O.D	SS3310	06-6537-1233	www.rodweb.co.jp			
アイホン	SS3224	052-682-3877	www.aiphone.co.jp	●		●
アドソル日進	SS3504	03-5796-3139	www.adniss.jp			
アドバンスセキュリティー	SS3223	03-5304-1261	www.adsec.jp	●	●	●
アペックス	SS3113	045-540-3205	www.appex.co.jp			
エヴァーフォーカスジャパン	SS3222	03-5625-8188	www.everfocus.co.jp	●		●
NEC	SS3237	03-3798-8667	www.nec.co.jp			
NSS	SS3419	092-504-7370	www.cpcam.jp	●	●	●
オプト	SS3615	0266-82-0020	www.optnagano.co.jp	●		
オプナス	SS3506	03-5822-7511	www.opnus.co.jp			
兼松日産農林	SS3130	03-3265-8270	www.knn.co.jp	●	●	●
キャトルプラン	SS3110	03-5302-1417	www.quatre-plan.co.jp	●	●	●
キヤノンマーケティングジャパン	SS3424	050-555-90074	canon.jp	●		●
クマヒラ	SS3301	03-3270-4388	www.kumahira.co.jp			
クリテム	SS3321	03-3983-3651	www.cretem.co.jp	●		
計電産業	SS3205	03-3945-0069	www.keiden-jp.com			
ケンコー・トキナー	SS3114	03-5982-3091	www.tokina.co.jp	●	●	
ジーネット	SS3122	06-6946-1916	security.g-net.co.jp	●		
ジェーエイアイ	SS3216	06-6349-1858	www.orb.co.jp/E/L			
GENETEC	SS3422	03-3583-3660	www.genetec.com			
JVCケンウッド	SS3602	045-939-7392	www.jvckenwood.co.jp	●	●	●
ジック	SS3106	03-3358-1341	www.sick.jp			
ジャバテル	SS3422	06-6354-0100	www.javatel.co.jp	●	●	●
ジョブル	SS3316	044-244-3281	www.joble.co.jp	●	●	
スペース	SS3304	0422-31-8110	www.spacecom.co.jp		●	
スリーディー	SS3129	03-5451-0511	www.3d-inc.co.jp	●	●	●
セキュリコ	SS3201	03-3504-8531	www.securico.co.jp	●		●
セキュリティ・ハウスセンター	SS3105	075-584-6600	www.securityhouse.net	●	●	●
セキュリティデザイン	SS3121	03-6230-3021	www.security-d.com	●		
セコム	SS3420	03-5775-8210	www.secom.co.jp	●		
セルコ	SS3313	075-501-0070	www.selco.ne.jp	●		
創朋	SS3309	03-5812-2151	www.soho-jp.com	●	●	●
ソニービジネスソリューション	SS3317	0120-788-333	sony.jp/snc/	●		
DYNACOLOR JAPAN	SS3212	03-5524-6655	www.dynacolor.co.jp	●		
タキゲン製造	SS3221	03-3492-2001	www.takigen.co.jp			

- ★1 ディスプレイ・セキュリティ・スタンド、デジタルサイネージ
- ★2 回線暗号装置
- ★3 ハンディーターミナル
- ★4 デジタル録画双眼鏡

出展企業名	ブース	電話番号	URL	出展製品		
				映像関係		
				カメラ	レンズ	モニタ
タムロン	SS3502	048-684-9129	www.tamron.co.jp	●	●	
中央電子	SS3402	042-656-5772	www.cec.co.jp			
ツバメ無線	SS3207	03-3762-7631	www.tbm-japan.com			
ティー・アイ・トレーディング	SS3614	03-5763-8177	www.t-i-trading.co.jp	●	●	●
テレフォース	SS3303	0875-23-3118	www.teleforce.co.jp	●		
店舗プランニング	SS3425	03-3378-4901	www.tenpo.co.jp	●	●	●
日商エレクトロニクス	SS3403	03-3544-8324	www.nissho-ele.co.jp			●
日本防犯システム	SS3401	092-481-2125	www.js-sys.com	●	●	●
ネクスコム・ジャパン	SS3323	03-5419-7830	www.nexcom-jp.com			
ネットカムシステムズ	SS3302	03-5207-8591	www.netcam.co.jp	●		
ハイテックインター	SS3103	03-3254-5383	www.hytec.co.jp	●		
パナソニックグループ	SS3613	0120-878-418	panasonic.biz/security/	●		
パル技研	SS3234	087-864-3388	www.palgiken.co.jp			
ピー・シー	SS3304	03-3760-8700	www.pc-hq.co.jp	●	●	
BNLジャパン	SS3101	03-5652-5557	www.bnl-bearings.co.jp			
日立国際電気	SS3501	03-6734-9530	www.hitachi-kokusai.co.jp	●	●	●
フィット・デザイン・システム	SS3111	04-2951-5166	www.fit-design.com			
4NSYS	SS3405	03-6206-2347	www.4nsys.com	●		●
VTCエレクトロニクス	SS3123	045-250-3822	vtc-jp.com	●	●	●
富士電機機器制御	SS3404	03-5847-8061	www.fujielectric.co.jp/fcs	●		●
フリアーシステムズジャパン	SS3311	03-6277-5681	www.flir.com/cvs	●		
古河産業	SS3505	03-5405-7524	www.furusan.co.jp			
プロテック	SS3118	084-943-6444	www.pro-110-119.jp	●		
朋栄	SS3616	03-3446-3528	www.for-a.co.jp	●		●
マザーツール	SS3128	0268-25-2332	www.mohtertool.co.jp	●	●	●
マックガード日本	SS3322	048-600-6080	www.mcgard.jp			
ミカミ	SS3124	045-914-8222	kk-mikami.co.jp	●	●	
三井物産エアロスペース	SS3102	03-3437-8975	mba-security.com	●		
三菱電機インフォメーションテクノロジー	SS3601	03-6414-8180	www.mdit.co.jp/necaroku	●	●	●
未来SYSTEM	SS3209	095-811-0002	-			
モスウェル	SS3423	045-290-7150	www.moswell.co.jp	●	●	●
MOBOTIX JAPAN	SS3611	045-227-6174	www.mobotix-japan.net	●		
ユーピーアール	SS3320	03-3593-1721	www.upr-net.co.jp			
ユタカ電気	SS3220	03-5437-4100	www.yutakaelectric.co.jp			
リズム時計工業	SS3202	048-643-7560	www.rhythm.co.jp	●		
リムブロス	SS3315	03-6206-9673	japan.limbros.com	●		
Rosnes	SS3605	075-352-7002	www.rosnes.jp	●		

★5 カメラPTZ駆動部ユニット

小間番号 **SS3311**

ネットワーク対応パン/チルト監視用赤外線カメラ

PTシリーズ

製品概要

監視用赤外線カメラPTシリーズは暗闇や悪天候の中でもターゲットを鮮明に映し出します。このカメラで取得した鮮明な映像は危険探知機能やアラーム評価機能を向上させるとともに高い解析性能で、アラームの誤作動を減らし、信頼性の高いフィードバックを提供致します。

主な仕様

- ・解像度：160×120 / 320×240 / 640×480
- ・フレームレート：7.5Hz / 30Hz
- ・レンズ：焦点距離9mm～100mm(固定焦点)より選択
- ・可視カメラ：1/4 CCD / 380,000 pixel / f=3.4～122.4mm / 光学ズーム 36×
- ・動作電力：24V AC/DC
- ・画像表示：アナログビデオ出力PAL / NTSC / デジタル出力 MPEG-4, H.264, M-JPEG
- ・サイズ：348×467×326mm / 16.4 kg
- ・標準パッケージ：カメラ本体、オペレーションマニュアル

特徴

PTシリーズは水平360°連続回転、また垂直方向へ±90°可動するパン/チルト機構に赤外線カメラと低照度CCDカメラを搭載したマルチセンサーカメラユニットです。

IP制御およびシリアル制御に対応しているため、デジタルおよびアナログネットワークのいずれにも簡単に導入することができます。またプラグ&プレイを可能にするオープンIP標準でONVIF規格に準拠しております。弊社監視用赤外線カメラは長波長領域に感度を持つオリジナルの非冷却赤外線センサー酸化バナジウム(Vox)マイクロボロメーターを搭載し、暗闇はもちろんのこと、悪天候の中でも鮮明な画像を取得することができます。一方、カメラの性能を損なわず日中における鮮明な画像取得も可能です。耐環境性能にも優れ、保護等級IP66を取得。また監視用ソフトウェアを使用することでレーザー等の外部機器との接続やスキャンパターンのプログラムなど、様々な機能を利用することが可能です。



フリーシステムズジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-20 西五反田アクセス8F

TEL : 03-6277-5681 FAX : 03-6277-5682

URL : www.flir.com MAIL : jun.masuda@flir.jp

MaxiiCopper

Vi2401 (同軸タイプ) / Vi2301 (LANタイプ)



製品概要

同軸ケーブル、LANケーブルを利用したPoE延長機器。例えば、ネットワークカメラ設置にあたり、このような課題をお持ちの方に最適なソリューションです。

- ・カメラに供給する電源の確保が難しい。新たに配線工事をするのにはコストがかかるし…
- ・駐車場から事務所までの距離が100mを超えてしまうため、LANケーブルでは届かない。映像の伝送はどうすれば…

特徴

- ・同軸ケーブル(5C2V)、LANケーブルを利用してPoE伝送距離を最大1000mまで延長可能
- ・機器自体の駆動もPoEによる電源供給で実現
- ・動作温度 -40 ~ +75℃
- ・ポイント-マルチポイント(1対4/8/16拠点)接続対応タイプも販売開始予定

主な仕様

最大伝送距離(PoE使用時)Vi2401: 1500m/10Mbps, 548m/100Mbps / Vi2301: 900m/10Mbps, 650m/100Mbps
端末インタフェースRJ-45 (10/100BASE-TX) ×1ポート

PoE延長インタフェース Vi2401: 同軸BNC(メス) ×1ポート / Vi2301: RJ-45 (10/100BASE-TX) ×1ポート

DIPスイッチによる10/100Mbps速度の設定、親機/子機の設定が可能

電源: PoEインジェクタによる電源供給、ACアダプタによる電源供給 (DC 12V)

※PoE機能をご利用の際には接続するケーブルや端末に関して注意点が 있습니다。詳しくはお問い合わせください。

※記載の伝送距離はシミュレーション及びテスト環境におけるものです。



ハイテックインター株式会社

〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町1-14 秋葉原SFビル 8F

TEL: 03-3254-5383 FAX: 03-3254-5388

URL: <http://www.hytec.co.jp> MAIL: info@hytec.co.jp

小間番号 **SS3310**

VioStorシリーズ・車番認識システム・テレビモニタリング装置

VioStor・VS-Catch・VS-Eye



主な仕様

新たな進化を遂げた『VioStor-8100Pro+』
24 / 32 / 40 / 48チャンネルに対応したハイエンド・ラインナップ

特徴

HDMI出力が可能になりモニタリングがさらに高精細・高画質へ
CPUは、Intel Core 3.3GHzを採用・2GBのDDR3メモリを搭載
モニタ出力：HDMI/RGB(ミニD-SUB15 ピン択一)出力解像度1920 × 1080
ライブ画面(モニター出力)：1/4/6/8/10/12 分割表示、シーケンシャル表示、全画面表示
対応カメラ：パナソニック/キヤノン/AXIS/Brickcomなど。<http://www.rodweb.co.jp>を参照。
録画圧縮：M-JPEG/MPEG-4/MxPEG/H.264(カメラに依存)
アラート通知：Eメール/警告音/イベント・ログ
外形寸法：約322(D) × 328(W) × 218(H)mm(突起物含まず)
使用環境：温度範囲0℃～+40℃、湿度範囲20%～80%(ただし、結露がないこと)



株式会社R.O.D

〒550-0012 大阪市西区立売堀1-7-18 国際通信社ビル6階
TEL：06-6537-1233 FAX：06-6537-1377
〈東京営業所〉〒108-0014 東京都港区芝5-32-8 青木ビル8階
TEL：03-5419-3354 FAX：03-5419-3359
名古屋・福岡・北海道・宮崎
URL：<http://www.rodweb.co.jp> MAIL：info@rodweb.co.jp

小間番号 **SS3616**

統合監視ソリューション

MICROTILES・MV-3200

主な仕様

モジュラ型ディスプレイ CHRISTIE社 MICROTILES

- ・縦・横に複数台組み合わせ、インチ数や形状を自由に変更可能
- ・センサにより位置関係を意識せずディスプレイ同士を接続
- ・色相を自動調整し、面倒な色調整が不要

高精細画面分割装置 MV-3200シリーズ

- ・最大32個の入力を1画面に集約
- ・アナログ信号やHD-SDI、PCなど様々な信号入力に対応
- ・時計表示、カウントアップ・カウントダウンタイマも搭載



高精細画面分割装置
MV-3200シリーズ



モジュラ型ディスプレイ
CHRISTIE社 MICROTILES

製品概要

様々な入力信号に対応した高精細画面分割装置とメンテナンス性に優れたモジュラ型ディスプレイにより、統合監視ルームにて各種情報をマルチ表示し、適時・適切な情報の把握及び判断を支援。

株式会社朋栄

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3丁目8番1号

TEL : 03-3446-3121 FAX : 03-3446-4451 URL : <http://www.for-a.co.jp> MAIL : sales@for-a.co.jp

小間番号 **2-26**

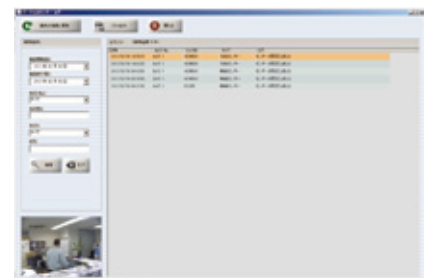
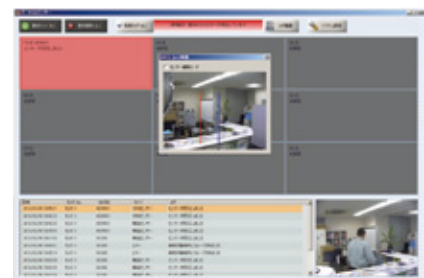
バーチャルセンサー

製品概要

カメラで撮影した画像を利用した仮想的なセンサーです。今までの様な機器センサーは必要ありません。カメラで映し出された画面にラインを引く事で発報しポップアップ等でお知らせします。

主な仕様

- ①単純センサー：映像に引いた赤ラインに触れると発報します。
- ②二重センサー：映像に引いた緑ラインの2本に同時に触れると発報します。
- ③方向センサー：映像に引いた2本のラインの片側から通過すると発報します。進入検知などの利用が可能です。



株式会社ネットカムシステムズ

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-10-3 プライム秋葉原ビル7階

TEL : 03-5207-8591 FAX : 03-5207-8592 URL : <http://www.netcam.co.jp> MAIL : netcam@netcam.co.jp

国内

3月

JAPAN SHOP 2012

(第41回 店舗総合見本市)
会期：2012年3月6日～9日
会場：東京ビッグサイト 東4・5ホール
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/js/

建築・建材展 2012(第18回)

会期：2012年3月6日～9日
会場：東京ビッグサイト 東5・6ホール
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/ac/

**リテールテック JAPAN 2012
(第28回流通情報システム総合展)**

会期：2012年3月6日～9日
会場：東京ビッグサイト 東1・2ホール
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/rt/

NFC & Smart WORLD 2012(第1回)

会期：2012年3月6日～9日
会場：東京ビッグサイト 東2ホール
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/nf/

SECURITY SHOW 2012(第20回)

会期：2012年3月6日～9日
会場：東京ビッグサイト 東2・3ホール
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/ss/

第4回LED Next Stage 2012

—ここから世界へ—
会期：2012年3月6日～9日
会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール
主催：LED照明推進協議会、日本経済新聞社

URL：www.shopbiz.jp/ld/

フランチャイズ・ショー 2012(第28回)

会期：2012年3月6日～9日
会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/fc/

第11回パーキング・ジャパン2012

会期：2012年3月14日～16日
会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール
主催：ジェイシーレゾナンス
URL：www.parking-japan.com/

5月

第7回 RFIDソリューションEXPO

会期：2012年5月9日～11日
会場：東京ビッグサイト 全ホール
主催：リード エグジビション ジャパン
URL：

**第3回 クラウド コンピューティング
EXPO 春**

会期：2012年5月9日～11日
会場：東京ビッグサイト 全ホール
主催：リード エグジビション ジャパン
URL：

自治体総合フェア2012

会期：2012年5月23日～25日
会場：東京ビッグサイト 西3ホール
主催：日本経営協会
URL：www.noma.or.jp/lgf/

ワイヤレスジャパン2012

会期：2012年5月30日～6月1日
会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール
主催：リックテレコム
URL：www8.ric.co.jp/expo/wj

6月

画像センシング展2012

会期：2012年6月6日～8日
会場：パシフィコ横浜
主催：アドコム・メディア
URL：www.adcom-media.co.jp/iss/

第6回「地域防災防犯展」大阪

会期：2012年6月7日～8日
会場：インテックス大阪
主催：大阪国際見本市委員会
URL：www.fair.or.jp/risk/

**コールセンター／CRM デモ&
コンファレンス2012 in 大阪(第5回)**

会期：2012年6月13日～14日
会場：マイドーム大阪・3F・大阪商工会議所
主催：リックテレコム、UBMジャパン
URL：www.callcenter-japan.com/osaka/
index.php

**Embedded Technology West 2012
(組込み総合技術展 関西)**

会期：2012年6月14日～15日
会場：インテックス大阪
主催：組込みシステム技術協会
URL：www.jasa.or.jp/etwest/2012/index.
html

7月

**第7回 オフィスセキュリティ EXPO
(OSEC)**

会期：2012年7月11日～13日
会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール
主催：リード エグジビション ジャパン
URL：www.osec.jp/ja/

海外

3月

ISNR Abu Dhabi

会期：2012年3月19日～21日

会場：Abu Dhabi National Exhibition Center,
U.A.E.

Email：haya.satari@reedexpo.ae

URL：www.isnrabudhabi.com

ISC West 2012

会期：2012年3月28日～30日

会場：Sands Expo & Convention Center,
Las Vegas, NV, USA

Email：inquiry@isc.reedexpo.com

URL：www.iscwest.com

4月

Secutech International 2012

会期：2012年4月18日～20日

会場：台湾 台北市世界貿易センター南港展示
ホール

Email：echo.lin@newera.messefrankfurt.
com

URL：www.secutech.com

Expo Seguridad

会期：2012年4月24日～26日

会場：Banamex Center Mexico City, Mexico

Email：contacto@gjiprex.com

URL：www.exposeguridadmexico.com

ISC Brazil 2012

会期：2012年4月24日～26日

会場：Expo Center Norte, Green Pavilion,
Sao Paulo, Brazil

Email：rfilbert@reedexpo.com

URL：www.iscexpo.com.br/en

MIPS 2012

会期：2012年4月24日～27日

会場：Expocentre, Moscow, Russia

Email：ilya.sobolev@ite-exhibitions.com

URL：www.mips.ru

Digital ID World Asia 2012

会期：2012年4月25日～27日

会場：Suntec International Convention &
Exhibition Center, Singapore

Email：misha.tan@terrapinn.com

URL：www.terrapinn.com/2012/digital-id-
world

5月

Exposec

会期：2012年5月8日～10日

会場：Centro de Exposigoes Imigrantes,
SanPauo, Brasil

Email：international@cipanet.br

URL：www.exposec.tmp.br

Safe secure Pakistan2012

会期：2012年5月8日～10日

会場：Karachi Expo Centre, Karachi,
Pakistan

Email：info@safesecure.com.pk

URL：www.safesecurepakistan.com

IFSEC International 2012

会期：2012年5月14日～17日

会場：National Exhibition Centre,
Birmingham, U.K.

Email：douglas.read@ubm.com

URL：www.ifsec.co.uk

IFSEC South India

会期：2012年5月30日～6月1日

会場：Palace Ground, Bangalore, Kama
taka, India

Email：alex.nicholl@ubm.com

URL：www.ifsecsouthindia.com

6月

IFSEC South Africa

会期：2012年6月19日～21日

会場：Gallagher Convention Centre,
Johanesburg, South Africa

Email：charlie.crackman@ubm.com

URL：www.ifsecsa.com

ISF2012

会期：2012年6月26日～28日

会場：Kula Lumpur Convention Centre,
Kuala Lumpur, Maalaysia

Email：isfexpo-my@ubm.com

URL：www.isfexpo.com

7月

Secutech Thailand

会期：2012年7月3日～5日

会場：タイ バンコク市バンコク国際貿易展示
センター

Email：stth@newera.messefrankfurt.com

URL：secutechthailand.com

Security 2012

会期：2012年7月25日～27日

会場：Sydney Convention & Exhibition
Centre, Sydney Australia

Email：kmcrore@divexhibition.com.au

URL：securityexpo.com.au

secutech THAILAND

secutech VIETNAM

信頼性の高い総合商談会でASEANでのビジネスを創造しませんか!

大規模政府事業が進行中で一般セキュリティ市場も隆盛しているタイとベトナムには、ASEAN地域最大のビジネスチャンスがあります。

セキュリティ・ソリューション供給業者向け専門商談会として役立つことから、SecutechタイとSecutechベトナムは、AXIS、Bosch、Chubb、Honeywell、Hikvision、Mobotix、パナソニック、ペルコ/シュナイダー、サムソン、ソニーといった世界的企業が最初に選択する展示商談会です。貴社も出展を急ぎましょう。

Secutech Thailand

2012年7月3～5日
タイ・バンコック
バンコック国際貿易展示センター(BITEC)

- GDP成長率：7%
- セキュリティ市場：3億米国ドル、成長率30%
- 来場者数：2011年実績・・・3,929名
2012年見込・・・5,500名

Secutech Vietnam

2012年8月22～24日
ベトナム・ホーチミン市
サイゴン展示会議センター(SECC)

- GDP成長率：7.5%
- セキュリティ市場：1.5億米国ドル
- 来場者数：
2011年実績・・・4,529名(過去最大)
2012年見込・・・5,000名

※お得なブース・パッケージもご用意しています。詳細は主催者にご確認ください。

日本担当：
ASJ社 小森
Tel: 03-6206-0448
Fax: 03-6206-0452
komori@asj-corp.jp

Bosch Security Systems、 注目を集める新製品を発表

Bosch Security Systemsは、2012年2月17日に第2回BSCPパートナーカンファレンスを開催した。冒頭でBosch Security Systemsビジネスデベロップメントのマネジャである丸岡豊一氏が2012年の基本方針を述べ、目標としてカメラ市場で上位3社を目指していることを披露した。続いて、同社セキュリティシステム ビデオシステム事業部のプロダクトマネジャである堀哲朗氏が、2012年の新製品を紹介した。そして、ホーチキのインテリジェント・ビデオ・システム部石井樹一部長が、Bosch社とホーチキとの強力な事業連携を紹介した。

今回発表した新製品の概要は下記の通りである。

【Dinion HD1080p DN】

- 1080p30/720p60 HD解像度
- HDでの優れた低照度対応
- モータ駆動自動バックフォーカス
- SDXC SDカード対応ローカル録画
- IVA、iSCSI録画対応
- 1.8-3mm、3.8-13mm、9-40mmなど各種レンズを用意
- PoE+対応

【VOT-320サーマルIPカメラ】

- Vox(酸化バナジウム)サーマルセンサ
- 640×480ピクセル解像度を実現
- カラー表示対応(グレイ、JET、FC2)
- IP66仕様
- サーマル対応IVA、iSCSI録画対応
- 3ストリーム(H.264×2、M-JPEG)対応

- フレーム数8.33fps
- 9/13/19/60mmレンズ
- SDローカル録画、iSCSI録画対応
- 検出範囲：最大3.9km

【NEI-30次世代赤外線照明内蔵カメラ】

- 5-50mmバリアフォーカルレンズ
- 850nm/920nm赤外線光
- 物体検出距離：最大160m
- IVA、iSCSI録画対応
- PoE+対応
- IP67仕様
- MIL-STD-810F(米軍標準810第6版)による直射日光耐性に対応

【NTC-255-PI赤外線内蔵ビュレットカメラ】

- 屋外利用可能な赤外線照明内蔵IPカメラ
- 動体の鮮明な画像を捉えるプログレッシブ・スキャン
- 3ストリーム(H.264×2、M-JPEG)対応
- IP67仕様
- 動体検知とiSCSI録画対応
- PoE+対応

【AutoDome 700IP】

- 光学28/36倍ズーム、デイ/ナイト機能
- 4ストリーム(H.264×3、M-JPEG)対応
- ナトリウム・ランプ・ホワイトバランス
- 4CIF/CIF解像度プログレッシブ・スキャン



- IP66対応の豊富なマウント・オプション
- IVA、iSCSI録画対応
- 高速360度連続パン機能+99箇所プリセット

【AEGIS UFLED赤外線照明器】

- LED の劣化を自動的に補うConstant Light技術による制御
- Black Diamond IR により、監視場面全体に均等な照明を提供
- 10°、20°、30°、60°、95°、および120°のビームパターンを可能にするマイクロ屈折レンズ技術
- DC12V/AC24Vをオンボード搭載。低電圧電源が使用できる場合は個別の電源装置は不要
- 高輝度のSMT LED により、熱管理の向上とLED 寿命の長期化を実現

発表予定の新製品

- FlexiDome HD1080p DNシリーズ
Dinion HD 1080pの基本性能を継承するドームカメラ
- IP200ワイヤレスIPカメラシリーズ
IEEE802.11b/g対応の無線機能を搭載した固定カメラ
- VIP XD HDデコーダ
VESAマウント可能なコンパクトなデコーダ
- BVMS ver3.0へのバージョンアップ



Security-Center 2.4GHzデジタル映像送信セット

- ・映像および音声信号用無線送信機
- ・D1解像度30フレーム／秒
- ・2.4GHzデジタル無線通信
- ・IRセンサを統合



ABUS Security-Center / ドイツ
Email: info.de@abus-sc.com

固定ネットワークカメラ AXIS Q1604、AXIS Q1604/-E

- ・H.264/M-JPEGのマルチ・ビデオストリーム
- ・IP66/NEMA規格4X対応 (AXIS Q1604/-E)
- ・IK10耐衝撃性能 (AXIS Q1604/-E)
- ・WDR (ダイナミックキャプチャー)
- ・リモート・バックフォーカス機能
- ・デイ/ナイト機能、PoE対応、HD720p



アクシスコミュニケーションズ
URL: www.axiscom.co.jp
☎: 03-5312-5232

モニタ GV-Decoder Box

- ・パソコン不要、メガピクセル・ネットワークカメラ映像を直接モニタ出力／表示
- ・5メガピクセル・カメラ映像を表示可能
- ・シングル画面、分割画面表示対応 (分割画面時、別途DVR / NVRが必要)
- ・リモコン簡単操作
- ・店内モニタ出力などに最適



GeoVision
URL: www.geovision.co.jp
☎: 03-5639-9355

H.264 HDリアルタイムDVR

- ・フルHDリアルタイム・ストリーミング (ライブ映像、再生、録画)
- ・HD-SDI1,080P映像入力
- ・4チャンネルHD-SDI DVR
- ・H.264コーデック
- ・最大120fpsで1080p録画
- ・搭載CMSで電子マップをサポート
- ・MACシステム対応



iCATCH / Taiwan
Email: marketing@icatchinc.com

屋外用無線装置 APE-5005P

- ・ネットワークカメラシステム用無線監視装置
- ・デュアルLANポート設計 (ネットワークカメラ用と無線ユニット用)
- ・IEEE802.11a (5GHz)
- ・IP68準拠の防水機能
- ・最大15kmまで送信



Alcon Telecommunications / 台湾
Email:alcon@ms11.hinet.net

指紋およびマイフェアカード読取機

- ・遠隔電子入退管理で高水準のセキュリティ
- ・1秒間5,000件照合
- ・誤認率0.005%、拒否率0.1%
- ・生体認証エンジン内蔵
- ・ユーザ数は無制限
- ・革新的なデザイン
- ・解像度500dpi
- ・音声と画像でのフィードバック
- ・PCとの暗号化通信



CDVI Group / フランス
Email: export@cdvi.com

指紋認証リーダー HON-FIN550 / 750

- ・IP65準拠の防水機能
- ・PoEとWiFiによる簡単設置導入
- ・半導体皮膜センサにより、偽造指紋を検出
- ・デュアルセンサ (光学および半導体) を搭載
- ・デュアルセンサ使用により、傷や損傷のある指紋を100%近い検出率を実現



Honeywell / 韓国
URL: http://www.honeywell.co.kr/security/English
☎: +82-2-799-6362

GSM / GPRS / イーサネット対応 PRO 4-G

- ・無線と固定回線によるキーパッド・プログラミング
- ・制御パネルにGSM / GPRS / IP / PSTN送信方式を表示
- ・Grade-2 EN 50131
- ・64区域ある制御パネル
- ・他の制御パネルと互換
- ・無線カメラとケーブル探知機をサポート



JR Security Systems / Spain
Email: jrsecurity@jrsecurity.com

■ 2メガピクセル魚眼レンズネットワークカメラ FCS-0071

- ・デイ/ナイト用着脱可能なIRカット・フィルタ
- ・1 / 3.2" CMOSセンサ搭載
- ・2メガピクセル、1,600x1,200で15fps
- ・360度と180度のパノラマビュー
- ・最大3ストリーム
- ・画像圧縮方式H.264 / M-JPEG
- ・2系統音声としてマイクとスピーカを内蔵



LevelOne / ドイツ
Email: sales@level1.com

■ メディア・コンバータ MX2Wire+

- ・電話線、電力線、同軸ケーブルの使用可能
- ・PoE / PoE+対応のデバイスに接続
- ・接続機器にPoE経由で最大13Wを供給
- ・有効な暗号化(AES-128ビット)を使用
- ・最大データ伝送距離500m
- ・ネット50bpsの高い伝送レート



MOBOTIX JAPAN
URL: www.mobotix-japan.net
☎: 045-227-6174

■ ネットワークカメラ BB-SW175 / SW174W

- ・トリプル・エンコーディング(H.264x2 / JPEG)
- ・16倍ズーム(2倍EX、8倍デジタルズーム)、パン/チルト機構
- ・1280x720 / 30fpsのHD高画質映像
- ・IP55準拠で屋外設置が可能
- ・ONVIF対応
- ・屋外無線LAN対応(SW174W)



パナソニック システム ネットワークス
URL: panasonic.co.jp/snc/psn/
☎: 0120-878-410

■ ドームカメラ D133

- ・2つのデジタルノイズ除去(DNR)とデジタル式WDR
- ・ソニー製1 / 3" スーパー HAD II CCDセンサ
- ・プライバシー機能(8区域)と動物検知(4区域)
- ・600 TV本の解像度
- ・多機能用オンスクリーン表示制御
- ・3-軸内蔵カメラ・ブラケット
- ・直流12V / 交流24Vの2系統電圧
- ・F1.4の2.8 ~ 11mmDCアイリス・レンズ



Pecan CCTV / 英国
Email: sales@pecancctv.com

■ HD-SDI カメラ SHI934HV1EF

- ・デイ/ナイト、プライバシー・マスキング、フリッカレス
- ・OSDメニュー設定変更によりHD-SDI出力可能
- ・水平解像度1000TV本以上
- ・210万画素屋外防水
- ・最大距離約50mの赤外線LED搭載
- ・プログレッシブHD-SDI出力
- ・最低被写体照度: カラー・・・0.005ルクス



Sambo Hitech Co.,Ltd. / 韓国
URL: www.sbccctv.co.kr
☎: +82-32-863-3300

■ コンパクト平面型ドームカメラ SCV-2010F

- ・高解像度600TV本
- ・最低照度0.04ルクス(F1.2時)
- ・3mm固定レンズ装備
- ・同軸ケーブル制御(Pelco-C)、直流12V
- ・大振動に耐える能力
- ・防爆耐性とIP66準拠



Samsung Techwin / 韓国
URL: stesecurity@samsung.com

■ NVR Exacq Vision DICE

- ・寸法: 264mm(高)×112mm(幅)×260mm(奥行)
- ・ブラウザ、スマートフォンからモニタ/再生可能
- ・標準搭載ストレージ500GB / 1TB / 2TB
- ・光学ドライブ: DVDスーパーマルチドライブ
- ・クライアントソフトを無償配布可能
- ・CPUにインテルCore i3を採用
- ・OSはWindows7 64ビット
- ・最大16チャンネルのIPカメラ接続



サンシステムサプライ
URL: www.sunss.co.jp
☎: 03-3397-5241

■ 無線RF送受信機 3_SK919TD2A+SK910RB2Q_300

- ・2回路C接点ドライ・リレーを10A@24VDCで接続。
- ・各1チャンネルで2つのLEDでRF受信を表示
- ・独立した2系統のプログラム可能なチャンネル
- ・送信機30台までを記憶(15台まで受信機用)
- ・プログラム可能な5系統出力(4秒間の操作、トグル切り替え、掛け金、有効性、1秒間の操作)



Superior Electronics Corporation / 台湾
URL: www.enforcer.com.tw
☎: info@superior-elec.com

リニューアル!

a&sJAPAN

電子版



<http://www.asj-corp.jp/>

a&sJAPAN電子版が、簡単にそしてすぐに読めるようになりました。一度読者登録していただくだけです。登録いただき次第、最新号のURLをメールでご案内します。このURLをクリックするだけで、すぐに読むことができます。その後は、当社が最新号をアップする度に、最新号のURLを読者の皆様にメールで通知します。バックナンバーはもっと簡単で、ウェブ上の雑誌表紙をクリックするだけでいつでもお読みいただけます。

● 無料閲読登録方法

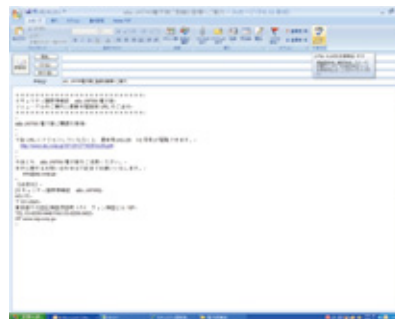
- ① 当社HPを開き、左中にある最新号をクリックします。
- ② 下記ページが開きますので、
- ③ 下記の登録ページの必須項目にご記入ください。
- ④ メールで最新号のURLをお知らせします。



左端の最新号直下のマークををクリックします。

新規無料購読お申込み

- ③ 下記の登録ページの必須項目にご記入ください。



電子版創刊に伴い、a&s JAPAN雑誌版は有償年間購読に切り替えさせていただきます。年間購読料金は、6,000円(税、送料込)です。詳細は下記URLをご覧ください。

http://www.asj-corp.jp/paid_reading/

ASJ社

東京都千代田区神田須田町1-7-1ウィン神田ビル10階
〒101-0041 TEL : 03-6206-0448 FAX : 03-6206-0452
E-MAIL : reader@asj-corp.jp

読者の声

導入までのプロセスを紹介してほしい

セキュリティ関係者は、ユーザが映像監視システムや入退管理の導入について多少情報を持っていると考えているようだ。しかし、ユーザ側は、何を目的として導入するかは把握しているが、どのような手順で進めるのかはほとんど理解していない。また提案を受ける場合も、時系列の手順の説明はあっても、その前に確認すべきことや必要なインフラに関することが分かっていない。特にネットワーク関係は理解していないことが多い。

そこで、導入までのプロセスを分かりやすく紹介していただくと全体像を把握できるのではないかと。

(東京 流通業)

アナログ系産業従事者向けのIPネットワークシステム講座の連載を望む

セキュリティ産業従事者の大半は、アナログ系を中心に業務に従事している。しかし、産業の流れがIPネットワーク系に移行してきていることに焦りを感じている。そして、どこからIPネットワークについて学習するのがいいのかもわからない状況にある。貴誌に掲載されている記事についても、断片的あるいは一部は理解できても全体構成が目には浮かばない。また、インターネットやネットワークなどを分けて学んでも関連付けが弱くなる。

このような「IPネットワーク難民」に対して、基礎からじっくりと学習できる情報の掲載を望む。

(埼玉 設置施工業)

海外イベントのリポート記事掲載を

日本国内のセキュリティ関係イベントは、SECURITY SHOWを含めてもほんのわずかしがなく、また展示している企業や製品も限られているのが実情だ。しかし、貴誌の海外イベント情報を見ると、毎月のように世界各地でセキュリティ関連イベントが開催されている。世界を欧州、北米、アジアの3極に分けて捉えて、それぞれの主要イベントに関するリポート記事が読めると、世界全体での潮流や時流を見ることができるのではないかと。情報収集だけで海外出張はできないので、a&s海外版の記事を是非翻訳して掲載していただきたい。

(大阪 メーカー)

「読者の声」を募集しています。

本誌では、セキュリティに関する読者の皆様のご意見やご提案を募集しています。セキュリティ機器やシステムを供給している側、セキュリティ・システムを既に導入あるいは導入を予定している側、いずれの側からの応募をお待ちしています。ただし、特定企業や団体または個人に対する誹謗中傷または批判的な内容をご遠慮ください。

一例を挙げると、導入する場合の手順はどのように進めれば良いのか。導入前の事前説明についてはどこに相談すべきなのか。メーカーなのか販売会社なのか、システム構築企業や設置施工企業なのか、それともセキュリティ・コンサルタント企業なのか。セキュリティに関する疑問や意見また提案など、セキュリティ関連であれば詳細は問いません。掲載する場合は匿名扱いとしますので、個人情報が漏洩することはありません。

なお、具体的な導入相談については、導入条件や環境についてできるだけ具体的な内容をご連絡ください。ご応募をお待ちしております。



a&s JAPAN編集部

TEL : 03-6206-0448

FAX : 03-6206-0452

MAIL : info@asj-corp.jp

広告主名(ABC順)	掲載ページ
BOSCH SECURITY SYSTEMS	25
DYNACOLOR	47
EVERFOCUS JAPAN	表二、1、32 ~ 33
フィットデザインシステム	44
フリーアシステムズジャパン	52
朋栄	55
GENETEC	45
HIKVISION DIGITAL TECHNOLOGY	3
ハイテクインター	53
HONEYWELL	15
インターシル	13
ジャバテル	26 ~ 27
MESSE FRANKFURT NEW ERA MEDIA	46、58
MINTRON ENTERPRISE	表三
ネットカムシステムズ	55、表四
日本経済新聞社	37
R.O.D	表一、表紙解説、54
ソニー	9
TAIWAN SECURITY NET	41
店舗プランニング	11、17

次号案内

2012年5/6月号(5月10日発行予定)

特集
PSIM統合

個別市場
教育機関

製品特集
VMS

連載
市場慧眼、生体認証

特別記事
HD-CCTV

a&s JAPAN ©ASJ社 2012年3-4月号 No.27
The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

発行人 小森堅司 印刷 新日本印刷

a&s JAPANは、Messe Frankfurt New Era Media発行のa&s International、a&s Asiaをはじめとするa&s各誌の独占翻訳権を特約して、発行するセキュリティ国際情報誌です。

ASJ社
Advanced Security Journal Corporation
東京都千代田区神田須田町1-7-1 ウィン神田ビル10階 〒101-0041
電話：03-6206-0448 FAX：03-6206-0452

■広告に関するお問い合わせは
E-mail：komori@asj-corp.jp

■購読に関するお問い合わせは
E-mail：reader@asj-corp.jp

■記事情報提供に関するお問い合わせは
E-mail：info@asj-corp.jp

■DM代行サービスおよび電子メール配信サービス
当社では、企業の依頼によりDMまたは電子メールで情報をお届けすることがあります。これらのサービスでは、読者の皆様の個人情報を当該企業には一切公開しておりません。

高感度で 高解像度を実現

1080p/720p 50/60fps HDカメラ



NEW Item



**Fiber-Optical
カメラ**



HD-IP カメラ

- HD 720pマルチプル・ストリーム
- コーディック : H.264 / MPEG-4 / M-JPEG
- CVBS



3G-SDI カメラ

- 非圧縮ビデオ : 720p/1080p
- 同軸ケーブルで伝送可能
- バイトレート : 2.97Gb/s SMPTE 292M/424M
- ワンケーブル :
ビデオ/オーディオ/ RS-232C 搭載
- CVBS

**MINTRON[®]
3M DSP**

メガピクセル モジュール

- イメージセンサー : 1,3~3M CMOS / CCDセンサー
- ARM /メモリー内蔵
- デジタルビデオ出力 : YUV 4:2:2 16bit (SMPTE 274M/296M)
- CVBS 出力 : 560TVL or 700 TVL (NTSC/PAL)
- 機能調整可能 : Peak / BLC / XDR / 3D DNR / A.E.S / DC-IRIS
- IRカット切り替え
- コミュニケーション : RS-232C / OSD
- 低消費電力化

MINTRON ENTERPRISE CO., LTD.

No.123, Wu-Kung 1 Rd., Wu-Ku Industrial Park, Taipei (248), Taiwan

Tel : 886-2-22990277 E-mail: service@mintron.com.tw

Fax: 886-2-22989375 Web : www.mintron.com Skype: mintron3601



録画ソフトウェアの メインストリーム



KxViewPro

高性能！簡単操作の録画ソフトウェア

Ver2.0

H.264 に対応しました。

同時録画台数 9 台、16 台、32 台、64 台用をラインナップ

- ・多彩な分割画面 (4 分割～最大 24 分割画面)
- ・マルチベンダ対応で複数メーカーのネットワークカメラ混在可能
- ・MAP 画面表示機能、カメラツリー表示機能を搭載
- ・デュアルモニタ対応 (ライブ分割画面最大 48 分割表示可能)

新発売！

●カメラ中継ソフトウェア [NetCam GATE]

- ・ネットワークカメラへの接続セッション数を増やします
- ・ホームページでのカメラ公開や、多拠点でのアクセス性を向上させます

●車両ナンバー認識 [ナンバーアイ]

- ・独自の認識アルゴリズムで一から設計。
高性能・低価格を実現
- ・誤認識調整やご当地ナンバー等にも迅速に対応可能。



●ネットワークカメラ録画サービス [さば録]

- ・クラウド方式で現場に録画機器が不要
- ・メンテナンスフリー
- ・どこでも閲覧可能
- ・<http://sabaroku.net>

当社はネットワークカメラ関連ソフトウェアをすべて自社開発しております。
個別カスタマイズ・OEM のご要望・ご相談お受け致します！

防犯・監視カメラを
もつと便利に、
もつと使いやすく。

NetCam
IP Network Monitoring System

株式会社ネットカムシステムズ

E-mail: netcam@ncam.net
<http://www.kxview.net>

■本社・秋葉原ショールーム
東京都千代田区外神田 3-10-3
プライム秋葉原ビル 7F
TEL 03-5207-8591

■大阪支店
大阪府大阪市淀川区宮原 4 丁目 4-63
新大阪千代田ビル別館 8B
TEL 06-4866-6431

SECURITY SHOW

2012年3月6日～9日

ブース番号 SS3302